

若 洲 海 浜 公 園 事 業 計 画 書

若洲シーサイドパークグループ

指定管理者候補者の提案額

1 施設名称

東京都立若洲海浜公園

2 指定管理者候補者

若洲シーサイドパークグループ

(構成)

東京港埠頭株式会社

株式会社ティアンドケイ

3 収支計画書

(単位:千円)

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
総支出額	626,691	626,691	626,691	626,691	626,691	3,133,455
利用料金収入	876,691	876,691	876,691	876,691	876,691	4,383,455
納付金 (都への提案額)	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	1,250,000

II 事業計画

1 管理運営に関する基本的事項

(1) 公の施設の管理運営に対する基本的考え方

1 指定管理者の役割

海上公園は、「海の都民への開放と自然環境の保全や回復」をビジョンとして、臨海部に体系的に創出された公の施設で、海辺の自然とのふれあいのほか、散策やスポーツなどレクリエーションの場を都民に提供する貴重な空間となっています。

指定管理者は、**東京都の行政の代行者として法令を遵守し、公平・公正な立場で、多様化するお客様ニーズに効果的かつ効率的に対応した質の高いサービスを提供していく責務**があります。

それらに応えるため、海上公園の設置目的を深く理解し、海上公園構想や海上公園ビジョンに加え、「2050東京戦略～東京 もっとよくなる～」、「東京グリーンビズ」等の上位計画も踏まえ、**社会情勢の変化、多様化する都民ニーズを的確に捉え、公園の魅力をさらに高める取り組みを積極的に推進していく役割と責任**を担うものと認識しております。

2 管理運営の基本的な考え方

若洲海浜公園は、ゴルフ、海釣り、サイクリング等のスポーツやレクリエーションを楽しむ人々が賑わう一方で、公園内の海辺や広大な緑地、水辺には魚介類、鳥、昆虫等の多様な生物が生息する自然豊かな価値ある公園です。

本公園の管理運営にあたっては、先に述べた指定管理者の果たすべき役割と責任を踏まえ、**都民や地域、関係団体等とも連携または協働し、レクリエーション空間と豊かな自然が共存した持続可能な活力溢れる公園づくりを目指した取り組みを推進**することが重要であると考えます。

当グループは、若洲ヨット訓練所や江東区立若洲公園とも繋がる海上公園の一大拠点である本公園の指定管理者を4期20年間務めてきました。その経験と培ったノウハウを最大限に活かし、**公園の持つさらなる可能性や魅力を引き出して、公園の価値を高めていくため**、以下の4つの視点で創意工夫をもった管理運営に取り組んでいきます。

なお、これらの実現に向けては、定量的なパフォーマンス指標を設定の上、PDCAサイクルを活用した**若洲マネジメントシステム(別図1参照)**を運用することで、事業の推進・検証・改善を繰り返し、管理運営のスパイラルアップを図っていきます。

視点1 お客様満足度を最上級にする質の高いサービスの追求

お客様の満足度向上のためには、安全・安心かつ公平・公正を担保した上で、多様化するニーズを的確に捉え、安全で利便性と快適性を常に高い水準に保ったお客様ファーストのサービスを提供することが重要です。また、本公園は様々な利用目的の方々が訪れるため、お客様皆様がルールとマナーを守り、互いに気遣う快適な利用環境をつくる必要があります。

当グループは、関係団体や都民と意見を交換する機会を定期的に設け、多様なニーズをいち早く収集しながら、DXや最新の管理手法を取り入れ、お客様に寄り添ったホスピタリティ溢れる質の高いサービスを実現するとともに、ルールの丁寧な案内やマナー啓発を実施し、非日常の時間を快適に楽しんでいただく満足度の高い管理運営を行います。

視点2 若洲海浜公園の特性や資源を活用した賑わい創出

若洲海浜公園は、ゴルフ場のほか海釣り・サイクリング・散策など多様な施設を有し、多くのお客様に利用いただいております。

広大な海と緑が調和されたダイナミックな眺望を目の前に、潮風を感じながらレジャーが楽しめ、都心から手軽に自然とふれあうことができます。

当グループは、都民や関係団体、隣接する若洲ヨット訓練所や江東区立若洲公園とも連携し、本公園の自然豊かなレクリエーション空間の特性を存分に活かした公園運営に取り組み、公園の魅力向上と活性化を図っていきます。さらに公園の水辺と緑に広がる多様な生態系を未来へつなげる貴重な資源として保全する維持管理を推進することで、公園の価値をさらに高めていきます。

視点3 安全・安心を確保した公園の維持・管理運営

若洲海浜公園特有の地盤沈下や汚水浸出、メタンガスの発生等を把握し、適切に対応していくとともに、施設を管理するにあたり環境へ配慮しながら、常に安全・安心で快適な状態に保つ信頼度の高い維持管理を実施することが重要です。

当グループでは、「維持管理ガイドライン」をもととした独自の「**パークメンテナンス方式**」(別図2参照)に準拠して、巡回や点検等を徹底して、事故や突発的な不具合を未然に察知して防止するとともに、迅速かつ適切に対処します。

また、近年の異常気象(酷暑や雷等)や災害発生(台風や地震等)による事故・被害も想定されます。災害時の防災拠点としての役割を理解し、周辺施設等との連携を図り、定期的な訓練やマニュアルの見直しを行い、防災力を強化します。

視点4 持続可能な都市を支える公園経営

公園は、都市が抱えるコミュニティ形成・健康増進・子育て支援・地域経済の活性化・歴史・文化の継承など、様々な課題の解決に活用されてきました。当グループにおいても、引き続きその課題に向き合うとともに、「経済成長・環境保全・社会的公正」を若洲海浜公園経営の3軸としてバランスよく成り立たせ、環境プログラムの体験を通じて、お客様が自然と共生する意識を高め、自然と調和した持続可能な都市の進化に貢献していきます。

<別図1 若洲マネジメントシステム>

管理運営全般の業務は、P D C Aサイクル活動を使って計画的に検証・改善します。

Plan(計画)

- 基本事業計画に基づく各年度事業計画の策定(年次)
- 事業の検証結果・対応方針に基づき、具体的な改善策を立案(随時)
- 協働事業に係る都民や若洲ヨット訓練所、江東区立若洲公園と連携できるよう事業計画書を共有(随時)

Do(実行)

- 年度事業計画及び立案した改善策に基づき、取り組みを実行
(サービス提供、維持管理、自主事業、広報、安全対策、ニーズ及び要望対応、人材育成 等)
- 若洲ヨット訓練所、江東区立若洲公園との連携による管理体制の強化(一体管理体制)

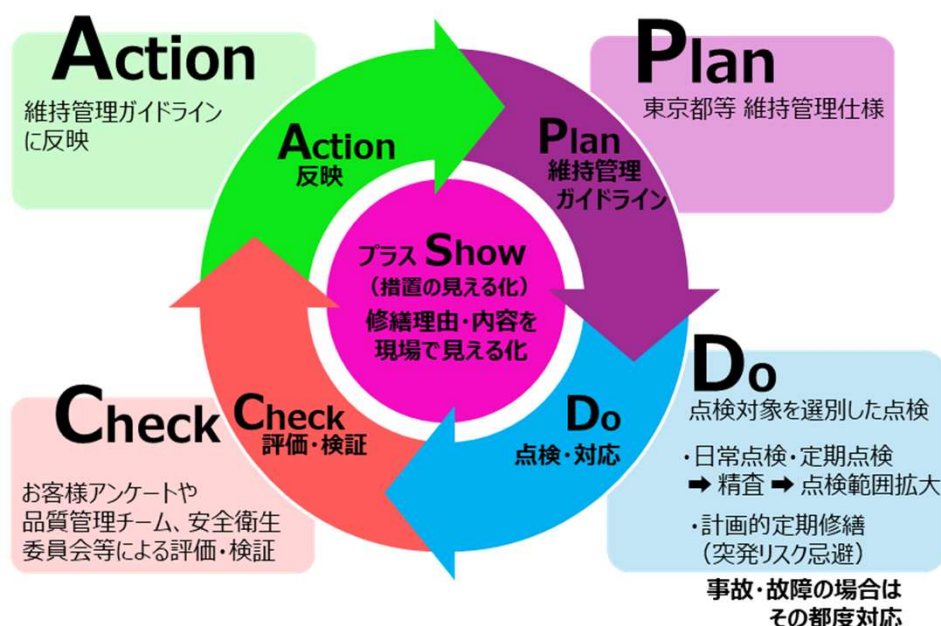
Check(検証)

- 毎月、以下により事業の進捗状況を確認し、実施した取り組みの効果を、連携施設とともに評価・検証
 - ・ 公園マネジメント会議(本社及び現場事務所とのスタッフで行う事業及び改善策の進捗状況確認)
 - ・ 品質管理チーム・専門部会(本社主体で業務全体の目標設定、進捗管理、評価と業務への反映)
 - ・ 安全衛生委員会(若洲海浜公園・若洲ヨット訓練所・江東区立若洲公園で構成)
- 専門家による客観的な視点で管理運営状況を評価・検証
 - ・ **若洲海浜公園評価委員会**(学識経験者等で構成された評価委員による評価・助言)、コース監修者視察
- 各業界関係団体との連携によるモニタリング
- お客様(都民)の満足度調査

Action(対策)

- 検証結果を踏まえた課題抽出、対応方針の検討(随時)
- 次年度事業計画への反映内容の検討(年次)
 - ・ **グループ運営協議会**(次年度事業計画書に対する助言・承認)

<別図2 パークメンテナンス方式>



対応事例

地盤沈下による園路の不陸解消

P	「維持管理ガイドライン」に、地盤沈下が発生しやすい箇所と点検方法を記載
D	日常点検(目視等)や月一回の計測点検を行うとともに、計画的な修繕を実施
C	安全衛生委員会による評価・検証
A	「維持管理ガイドライン」へ改善内容等を反映



日常点検
チェックシート



安全衛生委員会
による検証

(2)海上公園の管理運営における基本理念

1 管理運営における基本理念

若洲海浜公園は、都心からのアクセスが良く、ゴルフ場や海釣り、サイクリング、散策など多様な施設を有し、日常では味わえないレクリエーションが楽しめる公園です。**海上公園の管理運営実績50年を誇り、水域管理の豊富な経験とノウハウをもった代表企業A社を中心に、ゴルフ場運営やコース設計に係る豊富なキャリアをもつB社、コース管理における高い技術と豊富な経験を併せ持った協力企業など各分野の高い専門性を集結させます。**

環境特性に応じた安全・安心かつ快適な利用環境を維持する管理手法や質の高いサービスを遂行するための人材育成方法等、若洲海浜公園における20年間の管理経験で培ったノウハウを活かして公園の魅力をさらに向上させます。

管理運営における基本理念を「**大都市東京でありながら自然と調和した特別なレクリエーション空間が広がる活力と存在感溢れる公園づくり**」と定め、管理運営の重要事項の実現に向けて取り組んでまいります。

2 構成員の役割

A社	B社
● 事業全体の統括、東京都との連絡調整 ● 海釣り施設及び関連園地管理運営担当 ● 近隣企業等との連携または協働	● 若洲ゴルフリンクス管理運営担当 ● フロント、コース管理、キャディマスター室 キャディ、食堂、練習場、カート、売店業務 等

3 重要事項に対するノウハウを活かした取組

【ゴルフ場】

重要事項1 公営ゴルフ場としての意義を果たし、誰もが利用しやすい運営

管理運営の基本的な考え方 視点 1、2、4

ノウハウの活用	具体的な取組
● B社 若洲ゴルフリンクス 20年間の管理運営の実績と知見 ● B社 若洲ゴルフリンクス 20年間のコース管理実績と知見 ● B社 ゴルフ場の運営32箇所、コース設計57箇所の実績 ● B社（公社）日本プロゴルフ協会等との強固な協働体制 ● B社「障害者ゴルフ大会」の開催実績 ● B社 予約システム管理企業※との協働 ※ B社グループ企業 全国162コースの予約システム管理	● 障害の有無や世代・性別問わず多様なニーズへ適確に対応したプレーメニューやサービスの展開 ● 計画的かつ効率的な維持管理により営業日や1日の利用枠を拡大(利用促進) ● 誰もが使いやすく、わかりやすい公平・公正な予約システムの構築・運用 ● 多世代や初心者を対象としたレッスンの充実 ● 科学的根拠に基づく環境に配慮したコース管理

重要事項2 快適な利用環境の形成とホスピタリティ溢れる接遇によるお客様満足度のさらなる向上

視点 1、3

ノウハウの活用	具体的な取組
● B社 若洲ゴルフリンクス 20年間の管理運営の実績と知見 ● B社 若洲ゴルフリンクス 20年間のコース管理実績と知見 ● B社 ゴルフ場の運営32箇所、コース設計57箇所の実績 ● B社（公社）日本プロゴルフ協会等との強固な協働体制 ● B社 予約システム管理企業※との協働 ※ B社グループ企業 全国162コースの予約システム管理 ● B社 若洲ゴルフリンクス コース監修者を配置	● 高い接遇技術をもつスタッフによるわかりやすく丁寧な利用案内 ● DXを活用したスムーズな利用環境(スマートラウンドEVO) ● 季節等にあわせた綿密なタイムテーブルを設定、プレー状況に応じた細やかな進行管理 ● 科学的データに基づき、先進技術を取り入れた独自の管理手法による高いコースクオリティとハイレベルなコースコンディション ● マナーを啓発し、思いやりでつながる空間づくり

ノウハウの活用	具体的な取組
● B社 若洲ゴルフリンクス 20年間の管理運営の実績と知見 ● B社 若洲ゴルフリンクス 20年間のコース管理実績と知見 ● B社 ゴルフ場の運営32箇所、コース設計57箇所の実績 ● B社 若洲ゴルフリンクスのコース監修者との連携力 ● 共通 管理実績に基づく「維持管理ガイドライン」の活用 ● 共通「緊急時アクションマニュアル」等の策定	● 園地への場外飛球や打球事故は、蓄積した発生データをもとにハード面とソフト面で防止を徹底 ● 「維持管理ガイドライン」による計画的かつ効率的な維持管理 ● 災害や感染症、熱中症において、東京都等の指針に基づくマニュアル・ガイドラインによる適切な管理

【海釣り施設及び関連園地】

重要事項1 多様なニーズに対応した海と緑を楽しめる快適な空間づくり

視点 1、4

ノウハウの活用	具体的な取組
● A社 海上公園等50年間の管理運営の公園マネジメント力 ● A社 既指定管理者としての実績と精緻な知見 ● A社 (公財)日本釣振興会等の関係団体との連携力 ● A社 造園、電気、機械、建築等の技術者による専門的技術力	● DXを活用したお客様目線に立った親切・丁寧な利用案内 ● 公園の魅力等、お客様が必要とする情報をタイムリーに発信 ● ユニバーサルデザイン対応や暑熱対策等による誰もが安全で快適に利用できる公園づくり ● 様々な手法によるルール・マナー啓発で、お客様同士の気づかいある利用環境づくり

重要事項2 近隣施設等との連携による事故等の防止

視点 3

ノウハウの活用	具体的な取組
● A社 海上公園等50年間の管理運営の公園マネジメント力 ● A社 東京都や江東区、警察等との密な連携力 ● A社 若洲ヨット訓練所及び江東区立若洲公園との密な連携力 ● A社 造園、電気、機械、建築等の技術者による専門的技術力 ● 共通 地域連携の定期的な防災訓練による高い防災意識 ● 共通「緊急時アクションマニュアル」等の策定	● 若洲ヨット訓練所及び江東区立若洲公園等との連携による巡回・施設点検の徹底と不具合箇所等の適切な対応 ● 江東区立若洲公園と連携した日常的な事故防止対策や、有事に迅速に対応する体制づくり ● 東京都や警察、消防等と連携した情報伝達、安全対策 ● 近隣施設等と連携した自然災害を想定した防災訓練の実施

重要事項3 海釣り施設及び関連園地の特徴を活かしたお客様の拡大

視点 2、4

ノウハウの活用	具体的な取組
● A社 海上公園等50年間の管理運営の公園マネジメント力 ● A社 既指定管理者としての実績と精緻な知見 ● A社 若洲ヨット訓練所及び江東区立若洲公園との密な連携力 ● A社 (公財)日本釣振興会等の関係団体との連携力 ● 共通 イベント等の調整力・企画運営力・情報発信力	● 幅広い利用層を対象に「釣り教室」を開催して釣りの普及と利用促進を図る ● 若洲ヨット訓練所や江東区立若洲公園と連携して、各々の特性を活かしたイベントを開催 ● 園地やサイクリングロードを活用した「自然観察会」やワークショップ、「安全講習会」等の各種イベントを開催 ● 江東区立若洲公園と連携した釣り具のレンタル・販売 ● アクセスの向上と、他の海上公園との利用をつなぐ「シェアサイクル」の導入

4 指定管理者終了後の姿

当グループが持つ公園管理経験や専門性の高いノウハウを最大限発揮し、公の施設・海上公園がもつ役割を果たしつつ、持続可能な海上公園の象徴的存在へと進化させていきます。

公園に訪れる全ての人々が、安全で安心してスポーツやレジャーを楽しみながら、あらゆる生物が育まれた自然と調和し、共生を実現させることで、次世代に受け継がれる魅力溢れる空間とします。

「自然の育みにつつまれた空間に人々が賑わい笑顔と思いやりに満ちた公園」

(3)指定管理者の責務

1 基本的な考え方

海上公園を管理する指定管理者は、東京都の行政代行者として法令等を遵守して、障害者に対する社会的障壁の除去や多様性社会、環境問題などの社会課題に対し、積極的に取り組む必要があります。

当グループでは、「東京都障害者・障害児施策推進計画」に基づき、全ての都民が共に暮らす共生社会の実現を目指し、様々な取り組みによって社会的責任を果たしていきます。

また、社会の持続的な発展を目指すべく、「2050東京戦略～東京 もっとよくなる～」や持続可能な開発目標(SDGs)に基づき、性別や年齢、国籍など区別なく、誰もが安心して利用できるダイバーシティの実現や管理運営業務全般において、生物多様性の保全や環境負荷低減に取り組めます。

2 障害者に対する社会的障壁の除去

障害者に対する社会的障壁の除去は、人権の尊重と社会の多様性を実現するための基盤となり、国際的な人権意識の高まりや新たな法令の整備、市民の意識変化など多様な背景を踏まえ、**今後はさらなるバリアフリー化、情報アクセシビリティの確保、雇用の機会均等、偏見や差別の根絶等**を実現していく必要があります。障害者を含む全ての人が快適に生活し、社会に貢献できる環境を整えられるよう、これまでの経験やノウハウを活かして適確な対応を実施します。

(1)これまでの経験やノウハウを活かした適確な対応

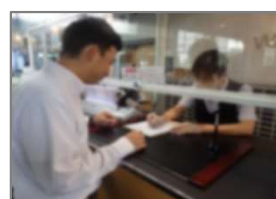
- ① (公社)日本プロゴルフ協会と協働により、「障害者ゴルフ大会」を開催します。段差や歩行距離等に配慮したティーやピンポジションを設定して、安全で快適にプレーできるコースをつくとともに、プロゴルファーや学生ボランティアが選手のプレーをサポートします。ボランティアやスタッフが参加者とコミュニケーションを取ることで、合理的配慮への理解を深めます。
- ② (公社)日本プロゴルフ協会との共催により、障害者ゴルフの発展やジュニアゴルファー育成を目的とした基金募集を兼ねた「**スポーツチャリティ大会**」を開催します。参加者は障害者やジュニアを主な対象として、インクルーシブな環境でゴルフを楽しんでもらうとともに、都民に大会の意義へ賛同いただき、ゴルフを通じた共生社会の実現を目指します。
- ③ (公社)日本プロゴルフ協会と協働により、「**障害者ビギナーデー**」を開催し、障害特性に応じたスイングをプロゴルファー等から学び、障害者ゴルフの発展につなげます。
- ④ 全スタッフを対象に合理的配慮研修を実施し、必要かつ合理的配慮に関する知識をさらに深めます。
- ⑤ 受付窓口では、筆談用の筆記具や上肢安定補助具を配置するなど、障害特性に応じた「おもてなし」を行います。視覚障害者には関係団体協力のもと利用におけるサポートなどを行い、安全かつインクルーシブな利用環境をつくります。
- ⑥ バリアフリーマップを整備周知し、必要な方には車いすの貸し出しを行います。
- ⑦ 海釣り施設に**車いす等の優先スペース**を設けます。



「障害者ゴルフ大会」
(学生ボランティアの帯同)



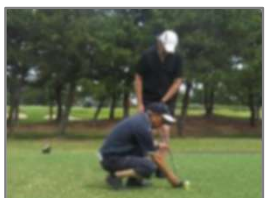
合理的配慮研修
(全スタッフが受講)



コミュニケーション
ボードによる接遇



手話研修
(全スタッフが受講)



ゴルフ関係団体との連携による
視覚障害者へのプレーサポート



若洲海浜公園
バリアフリーマップ



海釣り施設
車いす等優先スペース



駐車場 歩経路
バリアフリー化

(2)障害者の雇用への取組

- ① 障害特性に応じて就労場所や就労時間は柔軟に対応し、働きやすい環境をつくります。
- ② 関連機関(障害者就業・生活支援センター等)との連携により、法令や支援制度等最新の情報を把握するとともに、定期的な職場視察会を実施し、助言等をいただき、常に障害者スタッフに寄り添った快適な職場環境をつくり出します。

3 公の施設における不当な差別的言動の防止

不当な差別的言動は、個人の尊厳を傷つけるだけでなく、社会全体の調和や信頼を損なう要因となります。

国際都市として発展を続ける東京都において、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催を契機に、オリンピック憲章のいかなる種類の差別も許されないという理念をさらに都民へ浸透させていく必要があり、当グループにおいてもスタッフへの人権教育の実施や万が一不当な言動があった場合の対応体制を整備し、人権を尊重し合う環境をつくります。

- 内閣府が定める「障害者差別解消法」の事例をもとに、マニュアルを作成し、実践シミュレーションを行います。
- 公園にかかわるSNS等での不当な差別的発言を監視するとともに、**全スタッフへ情報リテラシー教育**を実施します。
- A社B社ともに社内相談窓口を本社、顧問弁護士等第三者により設置し、全従業員が相談できる場所を提供します。
- 全スタッフに向け、リーフレットの配布や研修を行い、不当な差別的言動の防止に向けた啓発活動を実施します。
- **カスタマーハラスメントに関する具体的な対策方針**を弁護士等専門家の監修のもと策定し、スタッフが安心して働くことができる職場環境を維持します。より公平・公正なサービスを提供することで、お客様満足度の向上に繋がります。

4 事業活動に係る環境負荷の低減

「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」の実現に向け、環境負荷削減をはじめ、省エネルギーの推進や再生品の使用等、管理運営業務全般において、環境に配慮した取り組みを推進します。

- 維持管理全般にわたり、**総合防除の手法**による管理を基本として、適切な剪定による物理防除や天敵を利用した生物防除、グリーン等においては、環境特性を見極め、最も適した芝草を選定するなどの耕種防除を行い、化学防除を最小限にするため、あらゆる技術を組み合わせ、生物多様性の保全を行い、持続可能なコースをつくります。
- ドローンに搭載した特殊カメラで水分量や植生状態を把握し、無駄のない適所適量な散水を行うことで、水の使用量を削減します。観測結果はデータで蓄積して、芝の状態を分析し、適切に対応します。
- コース内フェアウェイやラフの不陸補修等で撤去した芝を関連園地や他海上公園の芝生地などの補修で再利用します。
- 樹木の剪定枝は**場内でチップ化**し、歩経路等のクッション材としてリサイクルし、**場外への排出をゼロ**にします。
- 刈芝は目土修復などに使用し、場外への排出を削減します。
- 公園全体で使用する**電力はCO2フリーの水力発電による再生可能エネルギー**とします。
- 食堂では、独自の管理システムによる徹底した在庫管理や、調理過程で発生する野菜や魚の切り落とし部分を有効活用したメニューづくりにより、フードロス削減します。
- 売店のゴルフボールやティー、シューズ等は環境に配慮した商品を販売するとともに、オリジナルエコ商品としてランドリーバッグやマイボトルを展開し、使い捨てプラスチックの削減を徹底します。
- ジュニア向けスクールでは、身体の成長により不要になった卒業生等のゴルフクラブを次世代の参加者へリユースします。
- 管理運営業務で使用する事務用品等は、「東京都グリーン購入ガイド」に基づき、選定した製品を使用します。

環境にも配慮した総合防除の手法



当グループの持続可能な開発目標(SDGs)

社会への取組	 			ダイバーシティ推進 ● 障害者に対する合理的配慮（バリアフリーの整備等）と雇用の促進 ● 子育て世代が利用しやすいよう、東京都と協議し、託児所を設置 ● 労働環境や勤務時間等を配慮し、女性活躍の推進
	 	環境負荷低減 ● 「総合防除」による生態環境への負荷や化学農薬の使用を低減 ● 事務用品等は「東京都グリーン購入ガイド」に基づく選定品を使用 ● 食堂のフードロスを最小化		
	 	省エネルギーの推進 ● 再生可能エネルギー電力へのシフト ● 執務室等の照明をLED化、サーキュレーターによる使用電力削減 ● ハイブリッド式機器等への更新（社有車、作業車両）		
環境への取組	 	大気汚染・水質汚染の防止 ● 使い捨てプラスチックの削減（お客様への提供品、販売品等） ● 剪定枝はチップ化し、歩経路等のクッション材として園内リサイクル ● 企業等との協働による環境美化活動（園地、海釣り施設）		

2 人員配置計画等

(1) 人員配置計画（その1）

以下に掲げる管理組織にどのような雇用形態の職員を配置し、又は委託して業務を遂行するのか記入して下さい。

【総括表】

（単位：人）

管 理 組 織		雇 用 形 態						備 考
		常勤職員	非常勤職員	その他	その他の具体的な内容	計（1）	警備委託	計（2）
本社等・・・（a）		9	1	0		10	—	10
ゴルフリンクス・・・（b）		48	23	32	コース維持管理委託先職員 食堂業務委託先職員	103	2	105
	（うち、キャディの人数）	(14)	(18)	0		(32)	0	(32)
海釣り施設等・・・（c）		2	0	1	ゴルフ場、海釣り施設、関連園地に関する補助業務	3	0	3
総合計（a + b + c）		59	24	33		116	2	118

* 該当の雇用形態欄に人数を記入すること。人数は、延べ人数ではなく実数を記入すること（複数の管理組織を担当する職員がいても、いずれかの管理組織に振り分けること。）。

* 「常勤職員」とは、週40時間程度勤務し、貴団体が複数年にわたり雇用する職員をいう。

* 「非常勤職員」とは、アルバイト、パートなど臨時に契約する職員とする。

* 「警備委託」とは、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入すること。

* 「その他」とは、派遣職員など、上記の雇用形態に該当しないものをいう。当該欄に記入した場合は、必ず「その他の具体的な内容」欄にその内容を記入すること。

* 計（1）には、警備委託を除いた雇用形態の合計を記入すること。

* 計（2）には、警備委託を含めた雇用形態の合計を記入すること。

2 人員配置計画等

1/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、**職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）**を添付して下さい。

	管理組織			役職	担当業務内容 （具体的に）	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○	○		公園管理 事務所長	ゴルフ場、海釣り施設、関連 園地の全体の統括業務	防火防災管理者、上級救命技能 認定、公園管理経験27年、安全 運転管理者、安全衛生推進者 他	○				40時間	若洲海浜公園全体統括
2	○	○		若洲関連 園地リーダー	海釣り施設、関連園地統括 業務	上級救命技能認定、公園・施設 管理経験15年、釣りインストラクター、 東京シティガイド検定	○				40時間	海釣り施設、関連園地統括
3	○			ゴルフリンクス 支配人	ゴルフ場全体の責任者	ゴルフ場支配人・副支配人経験14 年、安全管理者、芝草管理技術 者3級	○				40時間	ゴルフリンクス統括
4	○			ゴルフリンクス 副支配人A	総務、フロント、食堂部門の総 責任者	ゴルフ場副支配人・マネージャー業務経 験13年、ゴルフ関連企業勤務経験8 年、ITハースト、CSR検定	○				40時間	
5	○			ゴルフリンクス 副支配人B	キャディマスター室、練習場部門 の総責任者	ゴルフ場支配人・副支配人勤務経 験33年、R&Aレベル1取得	○				40時間	
6	○			グリーンキーパー	コース管理部門総責任者	コース管理経験26年、芝草管理技術 者2級、農業管理指導士	○				40時間	
7	○			サブグリーン キーパーA	コース管理部門次席責任者 グリーンキーパー補佐	コース管理職経験31年、芝草管理技 術者2級、農業管理指導士、危険 物取扱責任者、高所作業車免許	○				40時間	
8	○			サブグリーン キーパーB	各種コース管理作業、更新作 業	コース管理職経験12年、芝草管理技 術者2級	○				40時間	
9	○	○		若洲関連 園地チーフ	海釣り施設、関連園地統括 業務補助	上級救命技能認定、公園・施設 管理経験5年、釣りインストラクター	○				40時間	
10	○			フロントマネージャー	受付、精算業務、予約業務 等統括	ゴルフ場フロントマネージャー業務経験4 年、ゴルフ関連企業勤務経験2年、 システム管理業務歴8年、ITハースト	○				40時間	
雇用人員数（実数） 計							10				総合計	118（人）
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* **キャディの人員も記載すること。**

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「（1）人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

2 / 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

	管理組織			役職	担当業務内容 （具体的に）	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考	
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託			
1	○			キャディマスター	キャディ労務管理、サービス品質管理、キャディ教育担当者	ゴルフ場マネージャー業務経験23年、PGAPプロ資格	○				40時間		
2	○	○		関連園地・ゴルフ場兼務スタッフ(1)	ゴルフ場、海釣り施設、関連園地に関する諸業務	上級救命技能認定、公園・施設管理経験3年、釣りインストラクター	○				40時間		
3	○	○		関連園地・ゴルフ場兼務スタッフ(2)	ゴルフ場、海釣り施設、関連園地に関する諸業務	上級救命技能認定、公園・施設管理経験3年、釣りインストラクター	○				40時間		
4	○	○		関連園地・ゴルフ場兼務スタッフ(3)	ゴルフ場、海釣り施設、関連園地に関する補助業務	接客業務・一般事務経験者				○	40時間		
5	○			フロント・事務スタッフ(1)	受付、精算業務、予約業務、各種データ入力等	ゴルフ場フロント業務経験8年 キャディ業務経験7年	○				40時間		
6	○			フロント・事務スタッフ(2)	受付、精算業務、予約業務、各種データ入力等	ゴルフ場フロント業務経験1年	○				40時間		
7	○			フロント・事務スタッフ(3)	受付、精算業務、予約業務、各種データ入力等	ゴルフ場フロント業務経験1年 商業施設案内係経験4年	○				40時間		
8	○			フロント・事務スタッフ(4)	受付、精算業務、予約業務、各種データ入力等	ゴルフ場フロント業務経験1年 Webデザイン業務歴2年	○				40時間		
9	○			フロント・事務スタッフ(5)	受付、精算業務、予約業務、各種データ入力等	ゴルフ場フロント業務経験1年	○				40時間		
10	○			フロント・事務スタッフ(6)	受付、精算業務、予約業務、各種データ入力等	ゴルフ場フロント業務経験1年	○				40時間		
雇用人員数（実数） 計							9			1		総合計	(人)
合 計							10						

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「（1）人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

3/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

	管理組織			役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○			フロント・事務 スタッフ(7)	総務及び経理業務	財務経理業務経験33年 日商簿記2級	○				40時間	
2	○			マスター室 スタッフ(1)	スタート時間管理、マニッシュ業 務、キャディ教育、キャディ業務	マスター室業務経験2年	○				40時間	マルチジョブ対応
3	○			マスター室 スタッフ(2)	スタート時間管理、マニッシュ業 務、キャディ教育、キャディ業務	マスター室業務経験1年	○				40時間	マルチジョブ対応
4	○			マスター室 スタッフ(3)	スタート時間管理、マニッシュ業 務、キャディ教育、キャディ業務	マスター室勤務経験9年 ゴルフ場勤務経験18年	○				40時間	マルチジョブ対応
5	○			マスター室 スタッフ(4)	スタート時間管理、マニッシュ業 務、キャディ教育、キャディ業務	マスター室業務経験1年 人事総務・経理業務経験27年	○				40時間	マルチジョブ対応
6	○			練習場 スタッフ(1)	各種レッスン講師	LPGA会員ティーチングプロ資格A級	○				40時間	マルチジョブ対応
7	○			練習場 スタッフ(2)	受付、精算業務、清掃、 ボール回収、練習場設備保全	ゴルフ場フロント業務経験8年	○				40時間	マルチジョブ対応
8	○			練習場 スタッフ(3)	受付、精算業務、清掃、 ボール回収、練習場設備保全	マスター室業務経験13年 ゴルフ練習場業務経験6年	○				40時間	マルチジョブ対応
9	○			練習場 スタッフ(4)	受付、精算業務、清掃、 ボール回収、練習場設備保全	ゴルフ練習場業務経験4年	○				40時間	マルチジョブ対応
10	○			練習場 スタッフ(5)	受付、精算業務、清掃、 ボール回収、練習場設備保全	ゴルフ場フロント・練習場業務経験26 年	○				40時間	マルチジョブ対応
雇用人員数（実数） 計							10				総合計 (人)	
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

4/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

管理組織				役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等	常勤				非常勤	その他	警備委託			
1	○			練習場 スタッフ(6)	受付、精算業務、清掃、 ボール回収、練習場設備保全	ゴルフ練習場業務経験6年、元日本 学生ゴルフ連盟競技委員長、ゴルフ 関連企業勤務経験24年	○				40時間	マルチジョブ対応
2	○			ハウスキャディ (1)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験36年 第1種衛生管理者	○				40時間	マルチジョブ対応
3	○			ハウスキャディ (2)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験16年	○				40時間	マルチジョブ対応
4	○			ハウスキャディ (3)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験14年 中学校・高等学校教諭1種	○				40時間	マルチジョブ対応
5	○			ハウスキャディ (4)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験36年	○				40時間	マルチジョブ対応
6	○			ハウスキャディ (5)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験26年	○				40時間	マルチジョブ対応
7	○			ハウスキャディ (6)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験11年	○				40時間	マルチジョブ対応
8	○			ハウスキャディ (7)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験33年	○				40時間	マルチジョブ対応
9	○			ハウスキャディ (8)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験31年	○				40時間	マルチジョブ対応
10	○			ハウスキャディ (9)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験18年	○				40時間	マルチジョブ対応
雇用人員数（実数） 計							10				総合計 (人)	
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「（1）人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

5/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

	管理組織			役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○			ハウスキャディ (10)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験13年	○				40時間	マルチジョブ対応
2	○			ハウスキャディ (11)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験16年	○				40時間	マルチジョブ対応
3	○			ハウスキャディ (12)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験18年	○				40時間	マルチジョブ対応
4	○			ハウスキャディ (13)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験10年	○				40時間	マルチジョブ対応
5	○			ハウスキャディ (14)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験11年	○				40時間	マルチジョブ対応
6	○			ハウスキャディ (15)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験30年 栄養士		○			38時間	マルチジョブ対応
7	○			ハウスキャディ (16)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験34年 調理師		○			38時間	マルチジョブ対応
8	○			ハウスキャディ (17)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験11年 宅地建物取引士		○			38時間	マルチジョブ対応
9	○			ハウスキャディ (18)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験14年		○			38時間	マルチジョブ対応
10	○			ハウスキャディ (19)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験25年		○			38時間	マルチジョブ対応
雇用人員数（実数） 計							5	5			総合計 (人)	
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

6/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

	管理組織			役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○			ハウスキャディ (20)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験20年		○			38時間	マルチジョブ対応
2	○			ハウスキャディ (21)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験13年		○			38時間	マルチジョブ対応
3	○			ハウスキャディ (22)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験9年		○			38時間	マルチジョブ対応
4	○			ハウスキャディ (23)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験21年		○			38時間	マルチジョブ対応
5	○			ハウスキャディ (24)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験9年		○			38時間	マルチジョブ対応
6	○			ハウスキャディ (25)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験22年		○			38時間	マルチジョブ対応
7	○			ハウスキャディ (26)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験34年 ホームヘルパー2級		○			38時間	マルチジョブ対応
8	○			ハウスキャディ (27)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験11年		○			38時間	マルチジョブ対応
9	○			ハウスキャディ (28)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験9年		○			38時間	マルチジョブ対応
10	○			ハウスキャディ (29)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験21年		○			38時間	マルチジョブ対応
雇用人員数（実数） 計							0	10			総合計 (人)	
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

7/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

	管理組織			役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○			ハウスキャディ (30)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験12年		○			38時間	マルチジョブ対応
2	○			ハウスキャディ (31)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験28年		○			38時間	マルチジョブ対応
3	○			ハウスキャディ (32)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験10年		○			38時間	マルチジョブ対応
4	○			ポーター (1)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	カート販売・メンテナンス企業業務経験43 年 ゴルフ練習場業務経験2年 福祉用具専門相談員資格	○				40時間	マルチジョブ対応
5	○			ポーター (2)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	ポーター業務経験2年	○				40時間	マルチジョブ対応
6	○			ポーター (3)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	ゴルフ場フロント・練習場業務経験5年	○				40時間	マルチジョブ対応
7	○			ポーター (4)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	ゴルフ関連企業勤務経験14年	○				40時間	マルチジョブ対応
8	○			ポーター (5)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	PGA会員ティーチングプロ資格A級 ジュニア指導員 マスター室業務経験1年	○				40時間	マルチジョブ対応
9	○			ポーター (6)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	マスター室業務経験2年	○				40時間	マルチジョブ対応
10	○			ポーター (7)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	マスター室業務経験6年		○			38時間	マルチジョブ対応
雇用人員数（実数） 計							6	4	0		総合計	(人)
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「（1）人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

8/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

管理組織				役職	担当業務内容 （具体的に）	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等	常勤				非常勤	その他	警備委託			
1	○			ポーター (8)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	マスター室業務経験19年		○			30時間	マルチジョブ対応
2	○			ポーター (9)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	ポーター業務経験5年		○			30時間	マルチジョブ対応
3	○			ポーター (10)	キャディ業務、ポーター業務、 コース管理補助作業	キャディ業務経験5年		○			28時間	マルチジョブ対応
4	○			ポーター (11)	ポーター業務、キャディ業務補助 コース管理補助作業	キャディ業務経験34年		○			20時間	マルチジョブ対応
5	○			コース管理 スタッフ(1)	各種コース管理作業	コース管理職経験10年、芝草管理技 術者2級、危険物取扱責任者			○		40時間	コース維持管理業務委託
6	○			コース管理 スタッフ(2)	各種コース管理作業	コース管理職経験27年、芝草管理技 術者3級、危険物取扱責任者			○		40時間	コース維持管理業務委託
7	○			コース管理 スタッフ(3)	各種コース管理作業	コース管理経験34年 2級自動車整備士			○		40時間	コース維持管理業務委託
8	○			コース管理 スタッフ(4)	各種コース管理作業	コース管理経験32年			○		40時間	コース維持管理業務委託
9	○			コース管理 スタッフ(5)	各種コース管理作業	コース管理経験32年			○		40時間	コース維持管理業務委託
10	○			コース管理 スタッフ(6)	各種コース管理作業	コース管理経験29年			○		40時間	コース維持管理業務委託
雇用人員数（実数） 計								4	6		総合計 (人)	
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

9/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

	管理組織			役職	担当業務内容 （具体的に）	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○			コース管理 スタッフ(7)	各種コース管理作業	コース管理経験24年			○		40時間	コース維持管理委託
2	○			コース管理 スタッフ(8)	各種コース管理作業	コース管理経験4年			○		40時間	コース維持管理委託
3	○			コース管理 スタッフ(9)	各種コース管理作業	コース管理経験2年			○		40時間	コース維持管理委託
4	○			料理長	レストラン・調理部門責任 者、調理担当	調理師、食品衛生責任者、ふぐ 免許、調理経験38年			○		40時間	食堂業務委託
5	○			レストラン 店長	レストラン・店舗責任者 接客担当	管理職経験20年			○		40時間	食堂業務委託
6	○			調理 スタッフ(1)	調理全般担当	調理師、ふぐ免許、調理経験33 年			○		40時間	食堂業務委託
7	○			調理 スタッフ(2)	調理全般担当	調理師、調理経験30年			○		40時間	食堂業務委託
8	○			調理 スタッフ(3)	調理全般担当	調理師、ふぐ免許、調理経験28 年			○		40時間	食堂業務委託
9	○			調理 スタッフ(4)	調理全般担当	調理師、調理経験20年			○		16時間	食堂業務委託
10	○			調理 スタッフ(5)	調理全般担当	調理経験2年			○		16時間	食堂業務委託
雇用人員数（実数） 計									10		総合計 (人)	
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「（1）人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

10/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

	管理組織			役職	担当業務内容 （具体的に）	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○			調理 スタッフ(6)	調理全般担当	調理経験1年			○		16時間	食堂業務委託
2	○			レストラン スタッフ(1)	配膳・接客業務	接客経験30年、防火管理			○		40時間	食堂業務委託
3	○			レストラン スタッフ(2)	配膳・接客業務	接客経験37年			○		40時間	食堂業務委託
4	○			レストラン スタッフ(3)	配膳・接客業務	接客経験13年			○		40時間	食堂業務委託
5	○			レストラン スタッフ(4)	配膳・接客業務	接客経験5年			○		40時間	食堂業務委託
6	○			レストラン スタッフ(5)	配膳・接客業務	接客経験10年			○		40時間	食堂業務委託
7	○			レストラン スタッフ(6)	配膳・接客業務	接客経験30年			○		16時間	食堂業務委託
8	○			レストラン スタッフ(7)	配膳・接客業務	接客経験8年			○		16時間	食堂業務委託
9	○			レストラン スタッフ(8)	配膳・接客業務	接客経験3年			○		16時間	食堂業務委託
10	○			レストラン スタッフ(9)	配膳・接客業務	接客経験3年			○		16時間	食堂業務委託
雇用人員数（実数） 計									10		総合計 (人)	
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

*** キャディの人員も記載すること。**

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

11/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

	管理組織			役職	担当業務内容 （具体的に）	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
	ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等				常勤	非常勤	その他	警備委託		
1	○			レストラン スタッフ(10)	配膳・接客業務	接客経験5年			○		16時間	食堂業務委託
2	○			レストラン スタッフ(11)	コース売店接客業務、 周辺清掃・維持管理	接客経験23年			○		16時間	食堂業務委託
3	○			レストラン スタッフ(12)	コース売店接客業務、 周辺清掃・維持管理	接客経験16年			○		16時間	食堂業務委託
4	○			レストラン スタッフ(13)	コース売店接客業務、 周辺清掃・維持管理	接客経験15年			○		16時間	食堂業務委託
5	○			レストラン スタッフ(14)	コース売店接客業務、 周辺清掃・維持管理	接客経験4年			○		16時間	食堂業務委託
6	○			レストラン スタッフ(15)	コース売店接客業務、 周辺清掃・維持管理	接客経験3年			○		16時間	食堂業務委託
7			○	マネジメント 部門担当(1)	目標設定、進行管理、サ ービス、維持管理水準向上等	公園施設等管理運営業務経験20 年、上級救命講習	○				40時間	本社勤務、若洲海浜公園を含 む公園全体の担当
8			○	マネジメント 部門担当(2)	目標設定、進行管理、サ ービス、維持管理水準向上等	1級造園・土木施工管理技士、公 園管理運営士、農業管理指導 士、刈払機、チェーンソー等	○				40時間	本社勤務、若洲海浜公園を含 む公園全体の担当
9			○	企画部門 担当	施設の活性化等の企画立 案及び補助	公園施設等管理運営業務経験12 年	○				40時間	本社勤務、若洲海浜公園を含 む公園全体の担当
10			○	総務・経理 部門担当	人事、予算管理、出納業 務等	簿記、ビジネス実務法務検定	○				40時間	本社勤務、若洲海浜公園を含 む公園全体の担当
雇用人員数（実数） 計							4		6		総合計 (人)	
合 計							10					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「（1）人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

2 人員配置計画等

12/ 12 枚

(1) 人員配置計画（その2）

各管理組織（若洲海浜公園施設、本社等）における職員等の役職、担当業務、能力等、雇用形態、一週間の勤務時間を、一人一人（1行ごと）記載して下さい。また、本様式とは別に、職員の勤務ローテーション表（標準1か月 A4 様式任意）を添付して下さい。

管理組織				役職	担当業務内容 （具体的に）	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
ゴルフリンクス	海釣り施設等	本社等	常勤				非常勤	その他	警備委託			
1			○	設計・技術 部門担当	コース改造、改修担当	日本ゴルフコース設計者協会特別顧問・理事、ゴルフコース設計者	○				40時間	本社勤務、若洲ゴルフリンクスを含むゴルフ場全体の担当
2			○	技術・企画 部門担当(1)	コース品質管理担当	ゴルフ場設計運営会社勤務経験41年、支配人経験2年、日本ゴルフコース設計者協会正会員	○				40時間	本社勤務、若洲ゴルフリンクスを含むゴルフ場全体の担当
3			○	技術・企画 部門担当(2)	コース品質管理・コースセッティング・コース改造、改修担当・レッスン監修担当	都民文化栄誉章受章、世界ゴルフ殿堂入、米国・日本プロゴルフ賞金女王		○			適時	世界・日本のゴルフ、ゴルフ場の流れを若洲ゴルフリンクスに反映
4			○	財務部門 担当	財務経理担当	財務経理業務担当経験12年	○				40時間	本社勤務、若洲ゴルフリンクスを含むゴルフ場全体の担当
5			○	品質管理 部門担当(1)	顧客満足度向上・品質管理 ゴルフ場予約システム監	ゴルフ関連企業営業勤務18年、予約システム管理会社経営21年	○				40時間	本社勤務、若洲ゴルフリンクスを含むゴルフ場全体の担当
6			○	品質管理 部門担当(2)	顧客満足度向上・品質管理 担当	経営企画兼総務人事担当経験9年 インドアゴルフ施設経営3年	○				40時間	本社勤務、若洲ゴルフリンクスを含むゴルフ場全体の担当
7	○	○		警備員(1)	海釣り施設、関連園地、 ゴルフ場の警備	救急救命訓練受講者				○	40時間	警備業務委託
8	○	○		警備員(2)	海釣り施設、関連園地、 ゴルフ場の警備	救急救命訓練受講者				○	40時間	警備業務委託
9												
10												
雇用人員数（実数） 計							5	1		2	総合計 (人)	
合 計							8					

* 管理組織欄には、職員等が管理する施設名等（複数可）に○印を記入すること。

* キャディの人員も記載すること。

* 本様式に書ききれない場合は、本様式を複数枚使用すること（右上の欄に枚数等を記入すること。）。

* 役職については、若洲海浜公園等を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入すること。

* 能力、資格、実務経験年数等は実際に配置する予定職員を想定の上記入すること。

* 雇用形態については該当する欄に○印を記載し、それぞれの数を合計すること。

* 総合計欄は、本様式を複数枚使用したときに、雇用形態の総合計を記載するために使用すること（1枚目に記載すれば足りる。）。

なお、各雇用形態欄における雇用人員数（実数）の計と「(1) 人員配置計画（その1）」の合計（a + b + c）は、一致させること。

■ 勤務ローテーション表(標準1ヶ月)

SD ⇒ セルフデー SP ⇒ 特別営業日(セルフプレー) CL ⇒ 休場日

役職名 / 担当業務	1 金	2 土	3 日	4 月 SP	5 火 SD	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月 SP	12 火 SD	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月 SP	19 火 CL	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月 SP	26 火 SD	27 水	28 木	29 金	30 土		休日数
公園管理事務所長		休						休	休						休	休						休	休						休	休		9
若洲関連園地リーダー			休	休						休	休						休	休						休	休							8
若洲関連園地チーフ						休	休						休	休						休	休						休	休				8
関連園地・ゴルフ場兼務スタッフ(1)				休		休	休					休	休						休	休							休	休				8
関連園地・ゴルフ場兼務スタッフ(2)	休				休			休						休	休						休	休						休	休			9
関連園地・ゴルフ場兼務スタッフ(3)	休				休			休			休	休						休	休							休	休					9
一日あたり出勤数	4	5	5	4	4	4	4	3	5	5	4	4	4	4	4	5	5	4	4	4	4	4	5	5	4	4	5	4	4	5		

ゴルフリンクス支配人				休	休						休	休						休	休						休	休						8
ゴルフリンクス副支配人A					休	休							休	休						休	休						休	休				8
フロント マネージャー		休			休				休						休	休				休	休							休	休			8
フロント・事務 スタッフ(1)				休	休							休	休							休	休							休	休			8
フロント・事務 スタッフ(2)		休			休			休		休					休				休	休		休					休					8
フロント・事務 スタッフ(3)			休	休					休		休					休			休	休				休					休			8
フロント・事務 スタッフ(4)					休	休				休		休					休	休			休				休	休						8
フロント・事務 スタッフ(5)					休		休				休				休				休	休					休	休						8
フロント・事務 スタッフ(6)	休		休		休			休						休					休	休				休			休					8
フロント・事務 スタッフ(7)	休		休		休			休						休					休	休				休					休			8
一日あたり出勤数	8	8	7	7	2	8	8	7	8	8	7	7	8	7	8	8	9	8	2	8	8	8	8	7	8	7	7	8	8	8		

若洲ゴルフリンクス副支配人B		休						休	休						休	休						休	休						休			8
キャディマスター				休	休						休	休						休	休						休	休						8
マスター室 スタッフ(1)			休		休					休					休	休			休	休				休			休					8
マスター室 スタッフ(2)	休				休		休						休	休					休	休							休					8
マスター室 スタッフ(3)	休					休		休						休							休	休							休			8
マスター室 スタッフ(4)		休			休			休					休						休	休					休					休		8
一日あたり出勤数	4	4	5	5	3	4	5	4	4	5	5	5	4	4	5	4	4	5	3	4	5	4	4	5	4	5	4	6	4	5		

練習場 スタッフ(1)				休	休						休	休						休	休						休	休						8
練習場 スタッフ(2)					休	休							休				休		休	休		休					休					8
練習場 スタッフ(3)					休		休			休			休						休		休			休				休				8
練習場 スタッフ(4)	休				休			休						休	休						休							休				8
練習場 スタッフ(5)		休	休		休				休						休				休	休			休							休		8
練習場 スタッフ(6)	休				休						休	休						休	休						休	休						8
一日あたり出勤数	4	5	5	5	0	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	5	5	4	0	5	5	4	5	5	4	4	5	4	6	5		

SD ⇒ セルフデー

SP ⇒ 特別営業日(セルフプレー)

CL ⇒ 休場日

役職名 / 担当業務	1 金	2 土	3 日	4 月 SP	5 火 SD	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月 SP	12 火 SD	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月 SP	19 火 CL	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月 SP	26 火 SD	27 水	28 木	29 金	30 土	休日数
ハウスキャディ (1)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (2)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (3)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (4)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (5)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (6)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (7)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (8)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (9)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (10)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (11)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (12)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (13)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (14)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (15)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (16)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (17)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (18)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (19)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (20)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (21)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (22)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (23)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (24)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (25)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (26)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (27)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (28)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (29)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (30)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (31)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ハウスキャディ (32)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
一日あたり出勤数	32	32	32	0	0	32	32	32	32	32	0	0	32	32	32	32	32	0	0	32	32	32	32	32	0	0	32	32	32	32	
ポーター (1)						休	休	休					休	休	休			休	休	休	休	休				休					8
ポーター (2)						休	休	休					休	休	休			休	休	休	休	休				休			休		8
ポーター (3)						休	休	休					休	休	休			休	休	休	休	休				休			休		8
ポーター (4)						休	休	休					休	休	休			休	休	休	休	休				休			休		8
ポーター (5)						休	休	休					休	休	休			休	休	休	休	休				休			休		8
ポーター (6)						休	休	休					休	休	休			休	休	休	休	休				休			休		8
ポーター (7)						休	休				休	休		休	休			休	休	休	休	休				休			休		8
ポーター (8)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ポーター (9)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ポーター (10)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
ポーター (11)				休	休						休	休						休	休						休	休					8
一日あたり出勤数	11	11	11	7	7	7	4	8	11	11	7	7	7	4	8	11	11	7	0	7	4	8	11	11	7	7	7	11	8	11	

SD ⇒ セルフデー

SP ⇒ 特別営業日(セルフプレー)

CL ⇒ 休場日

役職名 / 担当業務	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		休日数
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
グリーンキーパー			休	休						休	休						休	休						休	休							8
サブグリーンキーパーA						休	休						休	休						休	休						休	休				8
サブグリーンキーパーB		休						休	休						休	休						休	休						休			8
コース管理 スタッフ(1)		休						休	休						休	休						休	休						休			8
コース管理 スタッフ(2)			休						休	休						休	休							休						休		8
コース管理 スタッフ(3)			休	休							休	休					休	休							休	休						8
コース管理 スタッフ(4)				休							休	休					休	休					休			休	休			休		8
コース管理 スタッフ(5)				休		休						休	休				休	休		休					休	休	休					8
コース管理 スタッフ(6)						休	休					休	休	休						休	休						休					8
コース管理 スタッフ(7)	休						休	休						休	休						休	休						休				8
コース管理 スタッフ(8)	休							休		休	休				休						休	休		休					休			8
コース管理 スタッフ(9)	休					休	休						休	休						休	休			休					休			8
一日あたり出勤数	9	10	9	8	12	8	8	8	9	9	8	8	8	8	8	9	9	8	12	8	8	8	9	9	9	8	8	10	9	10		

料理長	休				休			休						休	休			休			休					休	休			9
調理 スタッフ(1)				休	休						休		休					休	休						休		休			8
調理 スタッフ(2)				休	休						休	休						休	休						休	休				8
調理 スタッフ(3)					休	休								休			休		休		休						休			8
調理 スタッフ(4)		休		休	休			休	休			休				休			休	休	休		休			休			休	12
調理 スタッフ(5)	休		休		休		休			休		休		休				休		休	休	休	休	休	休		休			13
調理 スタッフ(6)		休			休	休		休					休		休			休	休	休	休	休	休		休		休			12
一日あたり出勤数	5	5	6	4	0	5	5	5	5	6	5	4	5	5	5	5	6	4	0	5	5	5	5	6	5	4	5	5	5	5

レストラン 店長				休	休						休	休					休	休							休	休						8
レストラン スタッフ(1)	休				休	休						休	休					休	休						休	休						9
レストラン スタッフ(2)					休		休						休	休					休		休						休	休				8
レストラン スタッフ(3)		休			休			休						休				休			休						休	休				8
レストラン スタッフ(4)		休			休				休						休	休			休			休						休	休			8
レストラン スタッフ(5)			休		休					休					休	休			休					休						休		8
レストラン スタッフ(6)		休	休		休	休				休	休				休	休			休		休			休	休			休				13
レストラン スタッフ(7)	休			休	休		休	休			休	休			休			休	休		休				休	休			休			14
レストラン スタッフ(8)		休			休	休			休			休	休			休	休		休	休				休		休	休			休		14
レストラン スタッフ(9)				休	休	休			休	休			休	休			休	休	休	休	休	休					休					13
レストラン スタッフ(10)	休		休		休		休	休			休		休	休	休			休	休	休	休	休	休				休	休				14
レストラン スタッフ(11) / コース売店	休	休		休	休		休	休	休			休	休	休	休	休		休	休	休	休	休	休	休		休	休	休		休		19
レストラン スタッフ(12) / コース売店		休	休		休	休			休	休	休		休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休		休		休		休		19
レストラン スタッフ(13) / コース売店	休		休	休	休		休	休		休	休		休	休		休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休		休		18
レストラン スタッフ(14) / コース売店	休			休	休	休				休	休				休	休		休	休	休	休	休	休		休	休	休		休	休	休	19
レストラン スタッフ(15) / コース売店		休	休		休	休		休	休	休		休		休			休		休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	19
一日あたり出勤数	10	9	10	10	0	9	10	10	10	10	9	9	9	9	10	9	10	9	0	10	10	10	10	10	10	10	9	10	9	9	10	

SD ⇒ セルフデー SP ⇒ 特別営業日(セルフプレー) CL ⇒ 休場日

役職名 / 担当業務	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	休日数	
	金	土	日	月 SP	火 SD	水	木	金	土	日	月 SP	火 SD	水	木	金	土	日	月 SP	火 CL	水	木	金	土	日	月 SP	火 SD	水	木	金	土		
(本社)マネジメント部門担当(1)		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
(本社)マネジメント部門担当(2)		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
(本社)企画部門担当		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
(本社)総務・経理部門担当		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
(本社)設計・技術部門担当		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
(本社)技術・企画部門担当(1)		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
(本社)技術・企画部門担当(2)		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
(本社)財務部門担当		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
(本社)品質管理部門担当(1)		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
(本社)品質管理部門担当(2)		休	休						休	休						休	休						休	休						休	9	
一日あたり出勤数	10	0	0	10	10	10	10	10	0	0	10	10	10	10	10	0	0	10	10	10	10	10	0	0	10	10	10	10	10	10	0	

1 基本的な考え方

(1)公園管理事務所の役割と指揮

- ① 若洲海浜公園における、あらゆるサービス展開の拠点となる公園管理事務所には、グループ内の統括責任者としてA社から公園管理事務所長を配置し、事業全体を指揮・統括します。
- ② 公園内の施設ごとに、部門責任者を配置し、業務別にライン化した組織体制を構築します。
また、各ラインには必要な知識や経験を有する人員を配置し、施設を効率的に管理運営します。
- ③ 東京都との連絡調整や指示の履行は、A社スタッフ(公園管理事務所長含む)が一元的に担います。
- ④ 災害等の異常時には、公園管理事務所を現地対策本部に切り替え、A社の本社対策本部、東京都等と緊密に連携しつつ、責任ある対応を行います。

(2)本社の役割と指揮

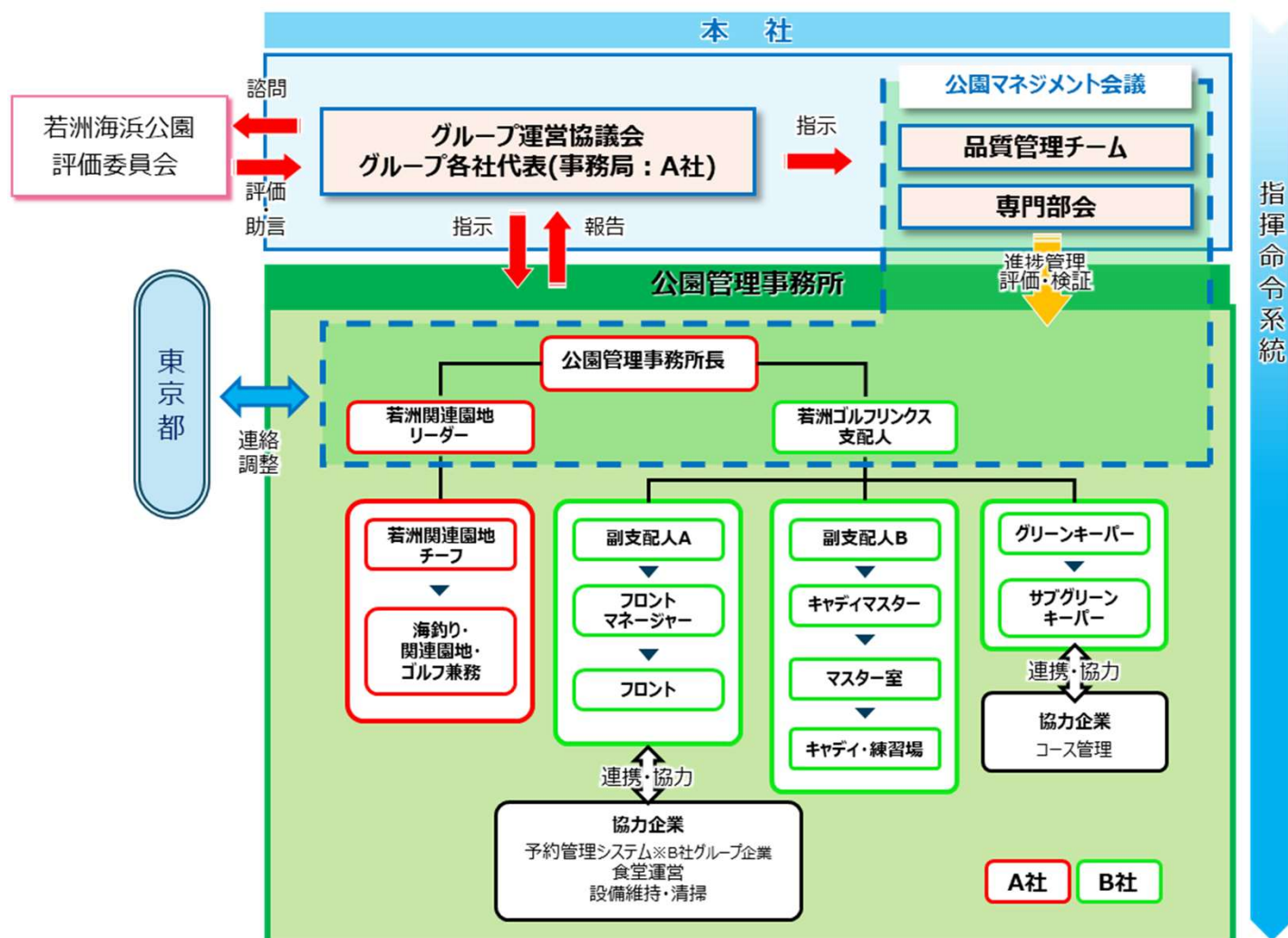
- ① 重要案件の協議や公園管理事務所への必要な指示・支援を行うため、A社及びB社の代表等で構成する**グループ運営協議会**を統括組織として設置します。また、外部の学識経験者で構成する**若洲海浜公園評価委員会**を設置して、管理運営における重要な課題への取り組み等の評価・助言を行います。
- ② 指定管理業務全体の目標設定、進捗管理、評価と業務全体への反映を担う**品質管理チーム**をA社本社に置くとともに、ゴルフ場の管理水準向上のため、B社本社及び支配人、グリーンキーパー等で構成する**専門部会**を設置し、芝草研究機関との連携を図りながら、現場と一体になって指定管理業務を効果的・効率的に推進します。

(3)業務改善・情報共有に向けた体制の確保

公園管理事務所長から各施設のスタッフまで、指揮系統を整備し、日常的に報告や連絡を行うことに加え、定期的なグループ内の情報共有の場や、事業進捗状況の評価・確認を行う機会を設定することで円滑な組織運営に取り組みます。

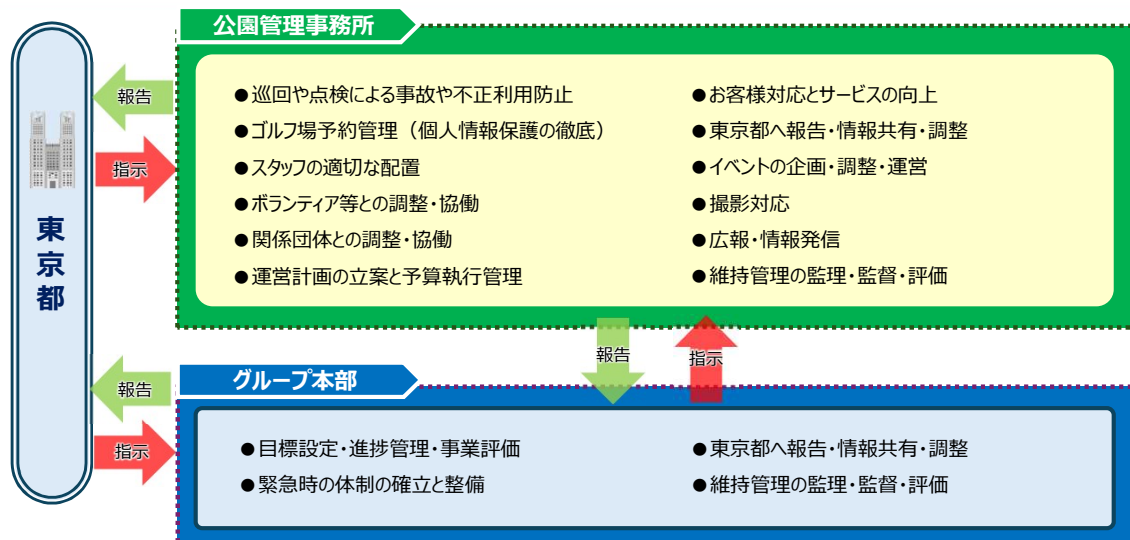
2 組織体制

若洲海浜公園 組織運営図



3 平常時・夜間・災害発生時等の対応

平常時



夜間時

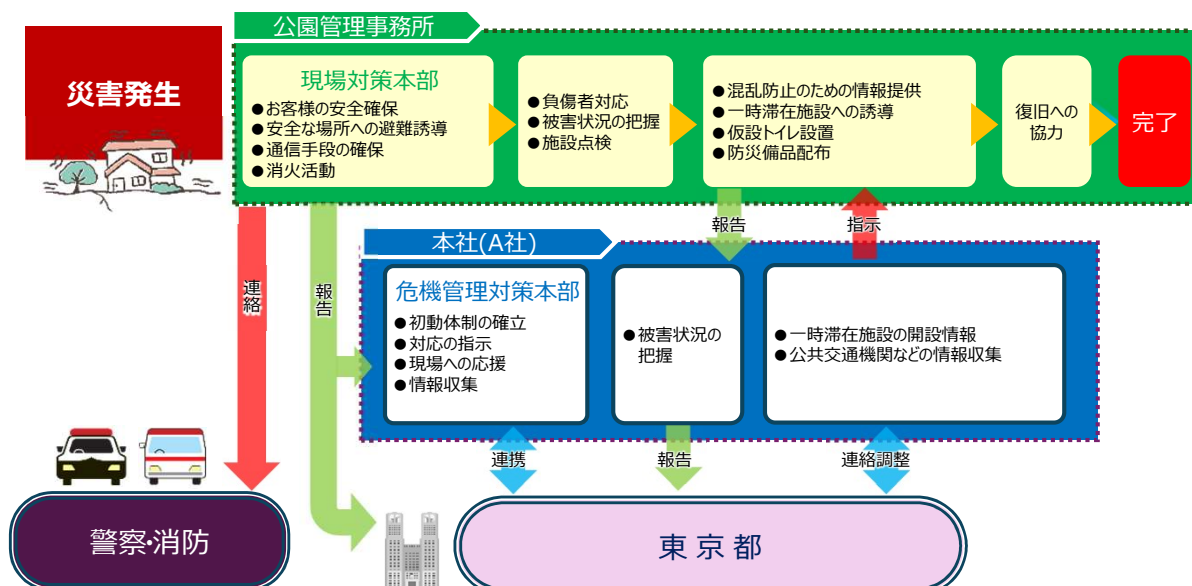
- 警備員を365日配置と機械警備を設置し、警備員は各施設の巡回を適宜実施して事件・事故等の有事に備えます。
- お客様が開所時間外でも連絡可能な緊急用携帯電話を警備室に設置し、24時間365日緊急連絡に対応します。
- 有事には公園管理事務所長等へ即時報告する緊急連絡体制及びスタッフが速やかに現地へ参集する体制を構築し、現場対応や東京都、関連機関（警察、消防、海保等）との連絡・調整を行います。
- 有事の際は、必要に応じて江東区立若洲公園（夜間有人警備）や若洲ヨット訓練所とも連携しながら対応します。
- 急激な天候異変時は、公園管理事務所で状況に応じた「連絡体制」「待機態勢」を構築して対応します。
- 元旦の日の出時の安全対策は、常駐警備の増員等による「特別警備体制」で対応します。

災害発生時



- 地震等による発災時には、A社の「**大規模地震等発生時初動対応マニュアル**」並びに「**緊急時アクションマニュアル**」に基づいて、お客様の安全確保を最優先し、関係機関およびグループ内に現場の正確な第1報を伝達するとともに、応急措置等を施します。
- A社本社に危機管理対策本部を設置、指揮命令、東京都をはじめとする関係機関との連絡、情報を一元化して本格対応のための体制を整え、お客様の安全確保を第一とした迅速な対応を進めます。
- 地震等の発災時には、帰宅困難者が多く発生すると考えられます。有事の際には、近隣施設や企業とも連携して、施設に備える災害用備品を活用しながら積極的に受け入れ、交通機関の回復や公の支援が届くまで、行政代行者として安全の確保に全力を尽くします。
- 若洲海浜公園は「**災害時臨時離発着場候補地**」及び「**大規模救出救助活動拠点候補地**」に、隣接する若洲ヨット訓練所は「一時滞在施設」となっているため、関係機関と連携し協力します。

時間経過



(3)人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

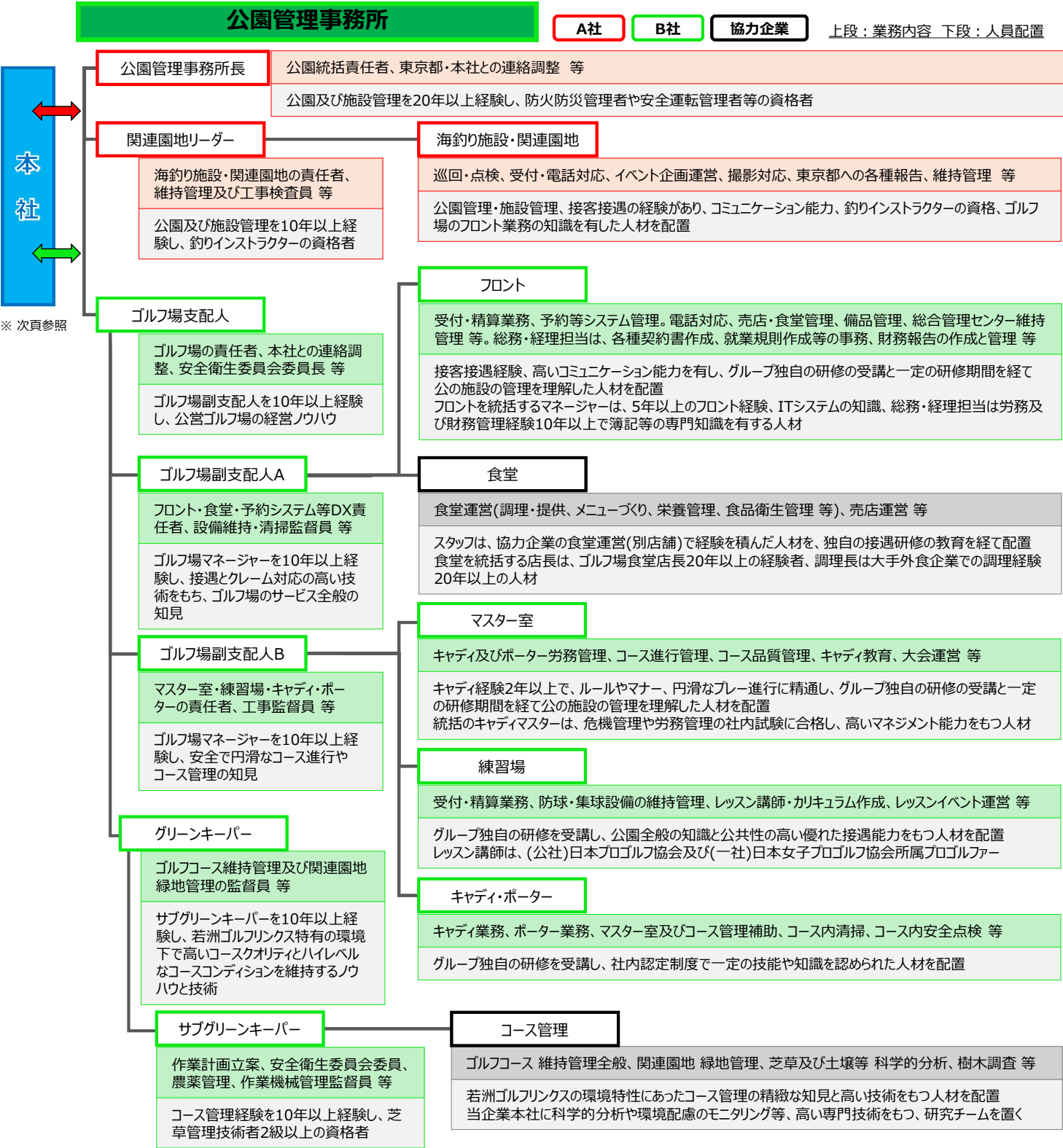
1 人材確保と人員配置の方針

指定管理者として、東京都の行政の代行者であることを認識し、法令を遵守して、東京都の施策を深く理解し、公平・公正な立場で、サービスを提供していくことが責務であり、また若洲海浜公園は、海上公園及び東京都の公園で他にないゴルフ場や海釣り施設を有しているため、管理運営には、それぞれ高い専門的な知識を持った人材が必要となります。

当グループでは、これまでに培ったノウハウをもとに、高い専門的な知識を有した人員を継続的に確保・配置・育成して、若洲マネジメントシステムのもと、若洲海浜公園の魅力を最大限に高め、効果的かつ効率的な管理運営を行います。

人材確保	経験豊富な現グループのスタッフを継続的に確保するとともに、公平・公正な採用試験を実施し、新たな人材の確保を図ります。
人材配置	個々の経験や能力に応じて、適材適所に人材を配置し、円滑な運営体制を構築します。
人材育成	日常業務を通じた育成を基本にしながら、業務上必要な基礎的知識や専門的技術能力の向上につながる研修や資格支援等を実施し、人材育成を図っていきます。

2 効果的、効率的な管理運営に必要な人材確保と人員配置



本 社

重要事項の協議や公園管理事務所への必要な指示・支援を行い、A社品質管理チーム※とB社専門部会※を設置し、現場と指定管理業務を効果的・効率的に推進します。

マネジメント部門

※品質管理チーム

公園管理経験があり、1級造園・土木施工管理技士等の資格者を配置し、目標設定や進捗管理、評価を行い、運営に反映

企画部門

公園管理経験がある者を配置し、施設の活性化等の企画立案を行い、運営に反映

総務・経理部門

簿記等の資格者を配置し、A社に係る人事や予算管理、出納業務等を担い、現場を補助

設計・技術部門

若洲ゴルフリンクスのコース監修者及び設計者を配置し、設計者の視点でコースコンディションの定期的な点検等を行い、評価や助言をして、運営に反映

技術・企画部門

※専門部会

若洲ゴルフリンクス監修者(世界ゴルフ殿堂入りした女子プロゴルファー)等を配置し、レッスンの監修やイベント企画、コースクオリティ向上への評価や助言を行い、運営に反映

品質管理部門

※専門部会

ゴルフ場予約システム管理会社経営経験、ゴルフ関連企業経営経験者を配置し、管理運営におけるDXの活用立案や高い情報セキュリティ管理体制を構築し、現場と調整

財務部門

効率的な財務管理を行うため、財務経理業務経験10年以上の者を配置し、経費の適正執行や財務諸表の確認、会計士等との調整・報告を行い、経営状況を常に把握し、管理

3 スタッフ等の技術や能力向上に向けた取組

これまで培った公園管理運営のノウハウを土台として、さらなるスタッフの能力開発のため、以下7つの分野で研修等を実施します。スタッフ各々が得た知識や技術、能力は、より良い公園の管理運営の実現に活かしていきます。

7つの能力向上	内 容	効 果
行政代行	指定管理者として求められる行政代行能力を向上	東京都施策の理解
	●公園行政、法令理解のための講習会 年4回	
	●指定管理者制度に関する勉強会 年1回	
法令遵守	個人情報保護や反社会的勢力などコンプライアンスに関する理解や対応力を向上	コンプライアンスの理解
	●個人情報管理に関する研修 年1回、●反社会的勢力に関する研修 年1回	
	●汚職等非行防止研修 年1回、●ハラスメント防止研修 年1回	
	●情報リテラシー研修 年1回	
危機管理	発災時、適切にお客様の安全を確保するため、危機管理能力を向上	防災・セキュリティの理解
	●緊急対応訓練 年1回	
	●ITパスポートの取得	
維持管理	維持管理関係の資格取得支援のほか、技術力の向上	維持管理の技術向上 安全な維持管理
	●土木・造園施工管理技士、公園管理運営士等の資格取得支援 通年	
	●芝草管理技術者等の資格取得支援 通年、●芝草学会への研究発表 適宜	
	●技術向上や安全管理のための内部・外部研修 年10回	
	●安全管理研修 年4回、●刈払機、チェーンソー安全教育 適宜	
	●救急救命訓練 年1回	
接客接遇	お客様へのおもてなしや様々なご意見に対応する能力を向上	お客様への 対応力の向上
	●新人研修 適宜	
	●接客接遇、コミュニケーション研修 年1回、●クレーム対応研修 年1回	
	●OJT研修 適宜（外部講師によるパーソナル研修も年3回実施）	
	●インバウンド研修 年1回	
	●合理的配慮に関する研修 年1回、●手話研修 年1回	
	●キャディ技術教育 通年、●ルール改訂等、ゴルフ専門知識研修 年2回	
社会貢献	●DX・AI研修 年1回	社会貢献の理解
	サステナビリティ及びSDGsの理解を深め社会貢献活動の能力を向上	
	●CSR検定取得支援 通年	
自主事業能力向上	イベントなどの自主事業の企画力などを向上	企画力の向上
	●企画調整力、渉外力、運営力のスキルアップ研修 通年	
	●釣りインストラクターの取得	
	●生物多様性に関する研修 年1回	

3 管理運営計画

(1)海上公園の管理運営についての実施方針と具体的な取組

1 管理運営の実施方針

少子高齢化や新型コロナウイルス感染症の蔓延、DXの進化等を背景としたライフスタイルの多様化に伴い、社会のニーズも変容し、余暇指向の高まりや心の豊かさが求められ、海上公園もそれに応じた管理運営が必要です。

当グループは、ゴルフや海釣り、サイクリングなど様々な目的でお客様が訪れる本公園において、**日々の利用状況や寄せられる意見からお客様の利用特性を的確に把握し、公園の持つ特性も活かしながら、変化する新たなニーズに応えた公園づくりを関係団体や都民とともに推進していきます**。さらに自然の美しさや生物多様性の保全、安全・安心な憩いの場、そして新たな時代のライフスタイルの一端を担う場として管理運営してまいります。

お客様の利用特性

- (1)ライフワークバランスや余暇を重視し、生活スタイルにあわせ、充実した時間を過ごすため
- (2)非日常的な空間で家族や友人などとレクリエーションを楽しみ、交流を深めるため
- (3)自然あふれる景観を楽しみながら、海と緑にふれあい 心と身体の癒しを求めるため

管理運営の実施方針

- (1)多様なニーズに応え、スムーズで快適な利用環境の形成
- (2)ホスピタリティ溢れるサービスの提供とお客様同士が思いやりでつながる空間づくり
- (3)安全・安心でお客様の健康にも配慮した施設環境づくり

2 具体的な取組

【ゴルフ場】

(1)多様なニーズに応え、スムーズで快適な利用環境の形成

①幅広いお客様ニーズやプレイスタイルの多様化への取組

- シニア・レディース優待デーのほか、(公社)日本プロゴルフ協会と協働で「障害者ゴルフ大会」を開催します。
- (一社)日本女子プロゴルフ協会等と協働で、初心者から上級者を対象にレッスンを開催します。
- **都民優待デーを週1回開催**し、料金割引サービス等により都民が利用しやすい機会を拡大します。
- 子育て世代の利用機会をサポートするため、「**託児所**」を東京都と協議し、設置します。
- 酷暑や高齢者等にも利用しやすい環境をつくるため、**乗用カートの乗り入れプレーを導入**します。
- セルフプレーやスループレー、9ホールプレー等を設定し、豊富なプレイスタイルを提供します。

イメージ写真



「託児所」
お客様ニーズをもとに、「託児所」を東京都と協議し、設置

②利用機会の拡大

- ルールに基づく、予約管理を徹底する事で適正な利用を促し、直前や無断キャンセルを抑止します。
- 直前のキャンセル枠は、SNS等に空き情報として発信し、お客様が利用しやすい環境をつくれます。
- **GPS搭載無人芝刈り機**による夜間作業で、日中の維持管理を効率化し、利用枠を拡大します。
- 進行管理の徹底した検証・改善で1日の利用枠を最大化し、多くの都民需要に応えていきます。

写真は薄暮プレー



9ホールプレー
「手軽にゴルフを楽しみたい」という
お客様ニーズに応え、拡大

③DXを駆使した予約から精算までスムーズで快適な利用

- 全ての予約を抽選制とし、公平・公正で誰もがわかりやすく、使いやすいシステムを構築・運営します。
- 予約からプレー、精算までを、スマホひとつで手軽に利用できる「**スマートラウンドEVO**」を実現します。
- 食堂では「**テーブルオーダーシステム**」により、注文から料理提供までをスムーズにします。

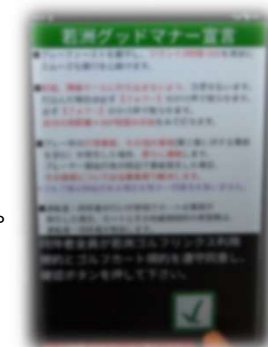
(2)ホスピタリティ溢れるサービスの提供とお客様同士が思いやりでつながる空間づくり

①ホスピタリティ溢れるサービスの提供

- 高い接客技術をもつスタッフにより、ホスピタリティを提供して快適な利用環境を形成します。
- キャディは接客能力の備わった人材を育成・配置し、安全・安心かつ快適なプレー環境を提供します。
- セルフプレーでは、安全で快適なプレー環境を確保するため、**フォアキャディ等を適所に配置**します。

②お客様同士が思いやりでつながる空間づくり

- マナー厳守の誓約(**若洲グッドマナー宣言**)により、お客様が互いに思いやるプレー環境を推進します。
- ゴルフ関係団体や都民と協働で**フェローシップ委員会**を設置し、ゴルフ場内におけるルールに関して啓発活動を行ない、安全・安心で快適な利用環境をつくれます。



若洲グッドマナー宣言
スタート前に乗用カートの
GPSナビ画面で「同意」

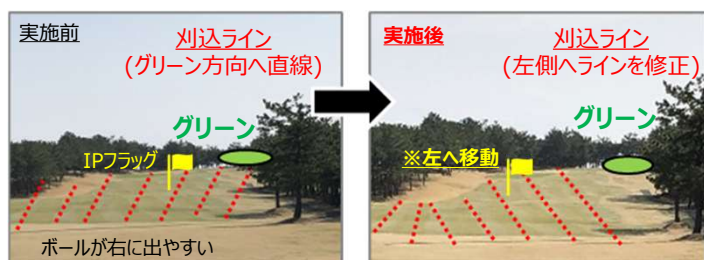
(3)安全・安心でお客様の健康にも配慮した施設環境づくり

①安全・安心な施設環境づくり

- 場外飛球及び隣接ホールへの飛球を防止するため、フェアウェイラインの工夫やティーイングエリアの不陸補修を行います。
- 急激な天候異変へは、最新鋭の気象予報システムの情報のもと、気象予報士と連携し、迅速な避難誘導を行います。
- 熱中症防止は、暑さ指数計による正確な情報提供及び注意喚起、効果的な対策グッズの無料配布等を実施します。
- 施設や設備の不具合に対して、近隣施設も参加する安全衛生委員会により、対応を協議し、計画的な修繕を行います。

②心と身体の癒しにつながる空間づくり

- ゴルフ場を都民に開放する「**ゴルフ場 開放デー**」を開催し、コースの開放感や景観を楽しみながらの散策によって、ゴルフ場の魅力を多くの都民に知ってもらうとともに、植物や生物に触れ、豊かな自然を感じてもらい、癒しと憩いの空間を提供します。
- コース内で育まれた生物多様性を保全するため、化学防除を最小限にして環境に配慮した維持管理を徹底して行います。
- お客様からの声や周辺風景の変化にあわせ、美しさと戦略性を併せ持った、お客様の心に残るコースを創造します。
- 食堂では、栄養バランスのとれたメニューや季節にあわせたメニューを充実させ、満足感の高い料理を提供します。



3番ホール フェアウェイラインの工夫
隣接ホール(右側)への飛球防止のため、フェアウェイの刈込みラインの角度とIPフラッグ(狙い目を示す旗)の位置を工夫することで、ボールの打ち出し方向を左側へ誘導します



「ゴルフ場 開放デー」
豊かな自然の中でウォーキングや芝すべり、スナッグゴルフ等の催しを通じ、ゴルフ場の魅力を伝え、ゴルフの普及振興を図ります

【海釣り施設及び関連園地】

(1)多様なニーズに応え、スムーズで快適な利用環境の形成

- ① 初心者や女性、親子等を対象とし、ニーズと季節に応じた「釣り教室」等を開催します。
- ② 江東区立若洲公園と連携し、手ぶらで釣りが楽しめるよう、釣り具のレンタルや販売をします。
- ③ 海釣り施設に、**車いす等をご利用したお客様の優先スペース**を設けるとともに、バリアフリーマップを整備・周知するなど、障害のあるお客様に、より使いやすい施設としていきます。
- ④ ユニバーサルデザインの観点から、多言語案内板の設置や段差解消等の取り組みを実施します。
- ⑤ お客様に有益な緑・花、釣果、混雑状況等の情報をHPやSNSでタイムリーに発信します。
- ⑥ サイクリングロードの安全・安心な利用を推進する「**安全講習会**」を開催します。
- ⑦ 園内に「**シェアサイクル**」を導入することで、サイクリングの利用機会を促進します。



親子釣り教室
インストラクターの丁寧な指導



サイクリングロード
海と緑等の景観を臨む

(2)ホスピタリティ溢れるサービスの提供とお客様同士が思いやりでつながる空間づくり

- ① 海釣り施設の利用案内は、釣りインストラクターの資格を持ち、海釣り施設を熟知したスタッフが、釣れる魚や釣り方、釣り場の特性等を懇切丁寧に対応します。
- ② 海釣り施設やサイクリングロードのルールやマナーの向上を目的とした動画配信や催しを通じた啓発活動により、お客様の意識向上を図って、お互いが思いやる快適に楽しめる利用環境を形成します。



「シーフロントミュージアム」
親子でワークショップを楽しむ

(3)安全・安心でお客様の健康にも配慮した施設環境づくり

- ① 急激な天候異変へは、最新鋭の気象予報システムの情報のもと、気象予報士と連携し、迅速な避難誘導を行います。
- ② 若洲ヨット訓練所や江東区立若洲公園と密に連携し、海釣り施設、サイクリングロードの施設点検や不具合箇所の処置を行うとともに、事故防止の対策や事故時の速やかな対応を行います。
- ③ 熱中症防止のため、声掛けや掲示物、園内放送で注意喚起を行うほか、**木陰・日陰スポットマップ**を作成してHP等で周知し、安全・安心かつ快適な利用環境をつくります。
- ④ 若洲ヨット訓練所や江東区立若洲公園、他海上公園と連携し、「シーフロントミュージアム」や「スタンプラリー」、「ガイドツアー」を開催し、豊かな自然を感じる、癒しと憩いの空間を提供します。
- ⑤ 生物の「**生態調査**」を行い園内の生物多様性を把握し、その内容を知っていただく「**自然観察会**」を開催し、自然に触れ合う機会をつくります。



「自然観察会」
セミの幼虫、羽化の観察で
生物多様性を体感

(2)質の高いサービスを提供するための具体的な取組

1 継続的に質の高いサービスを提供するための考え方

地方自治法や東京都海上公園条例をはじめ、関連する条例に基づく公園管理・運営を徹底するとともに、お客様の安全や公園資源の保全を最優先とした利用環境を維持します。

都民の利用需要に応え、多くの方々に利用をいただきながら、「安全・安心な利用環境」と「公園の特性を踏まえ、多様化するお客様ニーズに応えた快適なサービス」、「コースや施設のクオリティ」を高い水準で維持するとともに、海上公園の設置目的でもある「自然環境の保全と再生」を多様な場面で適確に取り入れ、以下のとおり取り組んでまいります。

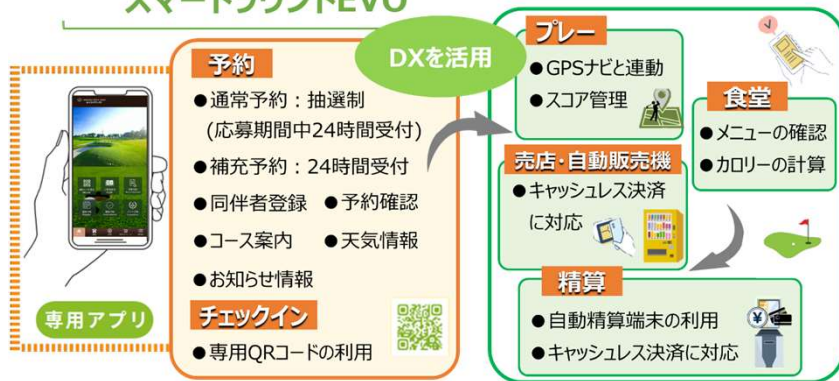
2 具体的な取組

【ゴルフ場】

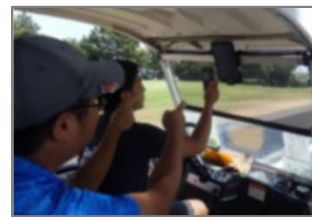
(1)DXを活用したサービスの提供

- ① 予約は、全ての申し込みをWebによる抽選制とし、システムはお客様の声をもとに一定の応募期間を設け、24時間いつでも応募できるよう利便性を重視し、**抽選結果だけでなく応募期間中の応募倍率も公表する透明性を確保**した環境にします。
- ② これまでは、通常予約や補充予約、コンペ予約等の異なる予約において、それぞれ3つのアカウントが必要でしたが、**予約システムを一新し、アカウントを統一**させることで、わかりやすく使いやすい予約環境を提供します。
- ③ 無断キャンセル等の履歴は予約システムで管理し、公平・公正な取り扱いのもと、この行為を繰り返すお客様には抑止のため電話やメール等により丁寧に対応して適正利用を促すことで、限られた利用枠を無駄にせず都民の利用機会につなげます。
- ④ 専用アプリを中心としたスマホだけで快適に利用ができる「**スマートラウンドEVO**」を実現させます。スマホひとつで自動でチェックイン、GPSナビからのスコアデータの保存、キャッシュレス決済ができる便利でスムーズな利用環境をつくります。
- ⑤ コース情報や位置情報を瞬時に把握できるGPSナビ付乗用カードを全組に提供します。全組の位置情報を把握しコース内の適所にスタッフを配置し、状況に応じたサポートを行うことでプレーの円滑化を図り、快適なプレー環境をつくります。
- ⑥ 食堂では**テーブルオーダーシステム**を導入し、スムーズな注文によって料理の提供までの時間を大幅に短縮します。限られた休憩時間において、有意義に使える時間が増えることで、心にもゆとりをもてる環境をつくります。
- ⑦ お客様がいつでも手軽に問合せができるよう若洲ゴルフリンクスHP内に**自動応答チャットツール**を設定します。自動翻訳機能を備え、多言語にも対応し、誰もが即座に正確な情報を受け取り、快適に利用できる環境をつくります。
- ⑧ ゴルフコースにおいて、科学的分析に基づく特殊機械による効率的な管理作業を行うとともに、フェアウェイ等は**GPS搭載無人芝刈り機を増台**し、お客様がいない夜間で安全に作業を行うとともに、高い技術により、クオリティを高い水準で維持します。
- ⑨ 若洲ゴルフリンクスの雷の接近等を、ピンポイントで予測できる最新鋭の気象予報システムと専属の気象予報士との連携によって、より精度の高い気象情報を入手して、安全かつ迅速な避難誘導を行い、お客様の安全を確保します。

スマートラウンドEVO



QRコードを表示したスマートフォンを自動受付機にかざしてチェックイン



当日のスコアはGPSナビに表示されるQRコードを読み取りダウンロード

(2)効果的な情報発信による利用促進

- ① 若洲ゴルフリンクスの魅力をより多くの都民に知ってもらうため、ゴルフ場の紹介動画や写真等を動画配信サービスやSNSで発信し、新規のお客様の利用を促し、さらなる賑わい創出につなげます。
- ② ゴルフ場を都民に開放する「**ゴルフ場 開放デー**」を開催し、緑あふれるコースの開放感や催しを楽しんでもらうことでゴルフへの興味を喚起させ、新たな利用者層の開拓につなげます。
- ③ 若洲ゴルフリンクスのHP等にコース内で見られる景観が綺麗なおすすめの撮影スポットを掲載するとともに、季節やイベントなどに応じた**フォトジェニックスポットを製作**し、若洲ゴルフリンクスの魅力をSNS等のお客様に発信いただける環境をつくります。
- ④ ゴルフの普及・振興に寄与する公共性の高いゴルフ大会を若洲ゴルフリンクスのHPやSNSで募集し、公営ゴルフ場としての意義を果たして、団体での利用を促進するとともに、20年間の大会運営経験を活かし、円滑な大会運営をサポートします。
- ⑤ ゴルフ場内に生息する生物や樹木の健康状態、環境に配慮したコース内の維持管理作業風景をHP等で掲載するとともに、売店でのオリジナルエコ商品の展開やペットボトルの削減を目的とした**マイボトルキャンペーン**など、環境に配慮した取り組みへお客様にも賛同をいただき、興味を喚起しながら、さらなる環境負荷低減を推進します。
- ⑥ (公社)日本プロゴルフ協会と協働により、「**障害者ビギナーデー**」を開催し、障害特性に応じたスイングをプロゴルファー等から学び、障害者ゴルフの発展につなげ、誰もが安全で快適に利用できる若洲ゴルフリンクスを認知いただく機会を創出します。

(3)創意工夫による利用促進とサービス水準の向上

- ① 知識と経験豊富なスタッフによる格別のホスピタリティを提供するとともに、外部講師による定期的な研修(OJTやパーソナル等)を実施し、接客技能やサービスレベルを向上させます。
- ② 季節やプレイスタイルに応じたタイムテーブルを設定するとともに、GPSナビを活用して、コース内の正確な位置情報をもとにプレーが遅延している箇所を把握し、**声掛けやプレーサポートを適確に行い、進行を円滑化させ、利用枠の拡大を図ります。**
- ③ **セルフプレーでは、スターターやフォアキャディを適所に配置**し、前組との間隔調整やプレーサポートを行い、ラウンドタイムを短縮させ、より安全で快適なプレー環境を提供します。
- ④ お客様自身で安全性・快適性に対する意識を高めていただくよう、**打球事故やプレーファスト厳守の誓約(若洲グッドマナー宣言)**をお願いし、お客様が互いに思いやるプレー環境を推進します。
- ⑤ 女性ゴルファーの利用が拡大している状況を踏まえ、アンケート等でお客様のニーズを伺い、トレンドを適確に捉え、高機能ヘアケアグッズの無料レンタルや各種アメニティの充実を実施して、満足度の向上を図ります。
- ⑥ 夏季の熱中症対策のためのアイススラリーや塩飴、冬季の簡易カイロやホットドリンクの配布等、季節ごとにサービス品を充実させ、快適に過ごせる満足度の高い利用環境をつくります。
- ⑦ 食堂では、四季折々の旬の素材や東京でとれた新鮮な食材等を使用し、見た目や味覚に高い満足感が得られるメニューを提供します。さらなるクオリティの向上のため、幅広い世代のスタッフが集い試食や意見交換をしながら評価・改善を行う、**メニュー検討会を適宜実施**します。
- ⑧ 練習場では、お客様のライフスタイルにあわせて利用いただけるよう、夜間の営業時間を延長し、利用を促進します。
- ⑨ 公共交通機関で来場される方に向け、最寄りの新木場駅からゴルフ場間を送迎するクラブバスを運行するとともに、手ぶらで来場できるようゴルフクラブの宅配サービス、クラブやシューズのレンタルを行い、売店ではゴルフボール等の販売を充実させます。



知識と経験豊富なスタッフによる丁寧な利用案内
(スマートラウンドEVOチェックイン操作)



充実したアメニティの設置
(ヘアケアグッズ、ボディクリーム、バフ等)

【海釣り施設及び関連園地】

(1)DXを活用した安全・安心かつ快適な利用環境

- ① 若洲海浜公園の雷の接近等を、ピンポイントで予測できる最新鋭の気象予報システムと専属の気象予報士との連携による精度の高い気象情報を入手して、安全かつ迅速な避難誘導を行い、お客様の安全を確保します。
- ② **ARやQRコードを活用**し、公園の見所や各施設の利用案内、生物多様性等の様々な情報を、お客様が必要な時にその場で便利に入手できる仕組みを構築し、園内適所に展開します。
- ③ 海釣り施設の海象状況や混雑具合等をリアルタイムに把握するとともに、情報発信するため、東京都と協議のうえ、**ライブカメラや利用者カウントシステムを導入**します。
- ④ お客様がいつでも手軽かつ便利に問合せができるようHPに**自動応答チャットツール**を設定します。
- ⑤ 事前予約のイベントは、利便性が高いWeb申し込みとし、**参加料の支払いはキャッシュレス決済**を可能とします。

(2)海釣り施設・関連園地の魅力を発信

- ① 海釣り施設において、日常の巡回で利用状況の確認やお客様とのコミュニケーションにより、お客様にとって有益な混雑情報や釣果情報などを把握し、HPやSNSにてタイムリーに情報発信します。
- ② 海釣り施設・サイクリングロードの紹介動画やビューポイントを動画配信サービスやSNS等で積極的に発信し、海釣りやサイクリングの魅力や楽しさを広めていくことで、新たなお客様の獲得につなげます。
- ③ 若洲ヨット訓練所や江東区立若洲公園、NPO法人と協働し、関連園地全体を活用したワークショップ型の「シーフロントミュージアム」を開催し、園内の魅力ある施設や美しい景観を知っていただき、新たな利用層の開拓につなげます。
- ④ 他海上公園と協働により、水と緑のネットワークと各公園の特性を活かした「フォトコンテスト」や「スタンプラリー」、「ガイドツアー」を開催し、海上公園が持つ様々な魅力を発信し、公園の活性化を図ります。
- ⑤ 東京港野鳥公園との連携による「**生態調査**」で、園内の生物多様性を把握し、その情報を新たな公園の魅力として「**自然観察会**」等を通じて、広く都民へ発信していきます。

(3)創意工夫による利用促進とサービス水準の向上

- ① 江東区立若洲公園と連携し、売店で釣り竿や餌等のレンタル・販売を行い、手ぶらで来ても海釣りが楽しめる環境を整えます。
- ② 夏季の熱中症対策のための声掛けや掲示物による注意喚起を行うとともに、**木陰・日陰スポットマップ**の作成、公開や**緑陰に配慮した維持管理**を行うことで、安全・安心かつ快適な環境づくりを行います。
- ③ 若洲海浜公園内に「**シェアサイクル**」を導入することで、公園までのアクセスツールを増やすとともに、**水と緑のネットワークのサイクリングマップ**を作成して他の海上公園とのつながりを広げ、サイクリングロードの利用を促進させます。
- ④ 若洲ゴルフリンクスに設置している透明ディスプレイを活用し、お客様への利用案内を多言語対応します。

(3)利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

1 要望・苦情へ適確に対応するための基本的な考え方

都民やお客様からの要望や苦情は、お客様への配慮や説明の不足している点など、サービス全般に渡って管理運営を再点検する良い機会であり、施設のさらなる安全性や満足度向上につながると認識しています。

当グループは、お客様から寄せられた声をPDCAサイクル活動によって、公平・公正の立場で検証し、改善を進めることで管理運営全般の水準を高めることに役立てていきます。

「お客様からの声」は再発を防止し、効果的な対応に活かせるよう、その内容と対応をデータ化し蓄積するとともに、対応事例までを一連のマニュアルに反映します。

2 要望・苦情へ適確に対応する組織体制と仕組み

(1) 要望、苦情は様々な手段で適確に把握

- ① CS(お客様満足度)アンケートを実施するほか、HPでの問合せ窓口、電話、現場での直接対応など多様な方法でお客様の声を収集します。
- ② お客様が不便を感じ、DXの力で改善が見込まれるサービスについて、意見を受け付ける**デジタル改善ポスト**を開設します。
- ③ 一般募集によるお客様との**満足度調査ミーティング**を定期的の実施し、お客様の潜在的な意見を収集します。
- ④ ゴルフ関係団体と綿密な連携し、お客様やスタッフの声をモニタリングする**マーケットミーティング**を定期的を開催します。
- ⑤ 「**自然観察会**」開催時に、参加者との**意見交換**の場を設け、対話から意見を収集します。



さらなるDX化を促進させる「デジタル改善ポスト」の開設

(2) 内容に応じて公平・公正に対応し、業務に反映

- ① 法令やこれまでの対応事例をもとに作成した「苦情・要望対応マニュアル」を活用し、迅速かつ適確に対応し、指定管理者と東京都の責任分担に基づき、原則は指定管理者で完結させます。
- ② 要望や苦情が発生した際は、緊急を要する内容か否か、指定管理者の判断で処理できる範囲かを見極めます。指定管理者の判断で処理できる場合、緊急・即対応の案件は、速やかに対応します。
- ③ 関係者との調整を要する案件は、A社本社の品質管理チームが東京都と連携して処理方法を決定し、東京都へ報告します。
- ④ 対応結果は、個人情報の保護を徹底することを前提に、A社の管理職で構成される**苦情要望評価委員会**において、再発防止策を検討・評価するとともに、ご意見の内容とその対応を分類、データベースとして蓄積することで、社員研修やマニュアル改訂に活用し、業務改善につなげます。
- ⑤ 要望、苦情は、PDCAサイクルにより、内容の検証、評価を行い、業務改善に活かします。
- ⑥ CS(お客様満足度)アンケートは経年で結果を比較・分析し、業務に反映します。

(3) マイシティレポートへの対応

マイシティレポートに寄せられたご意見は、速やかに現地の状況を確認し、対応策をHPに掲示し、迅速に対応します。

(4) 仕組み

要望・苦情は、下記のPDCAサイクル活動によって、公平・公正の観点から検証・評価します。
その結果、改善が必要と思われる事案は、業務に反映させるとともに、対応結果はHPやSNSを活用して適宜発信し、お客様の利便性向上に役立てます。

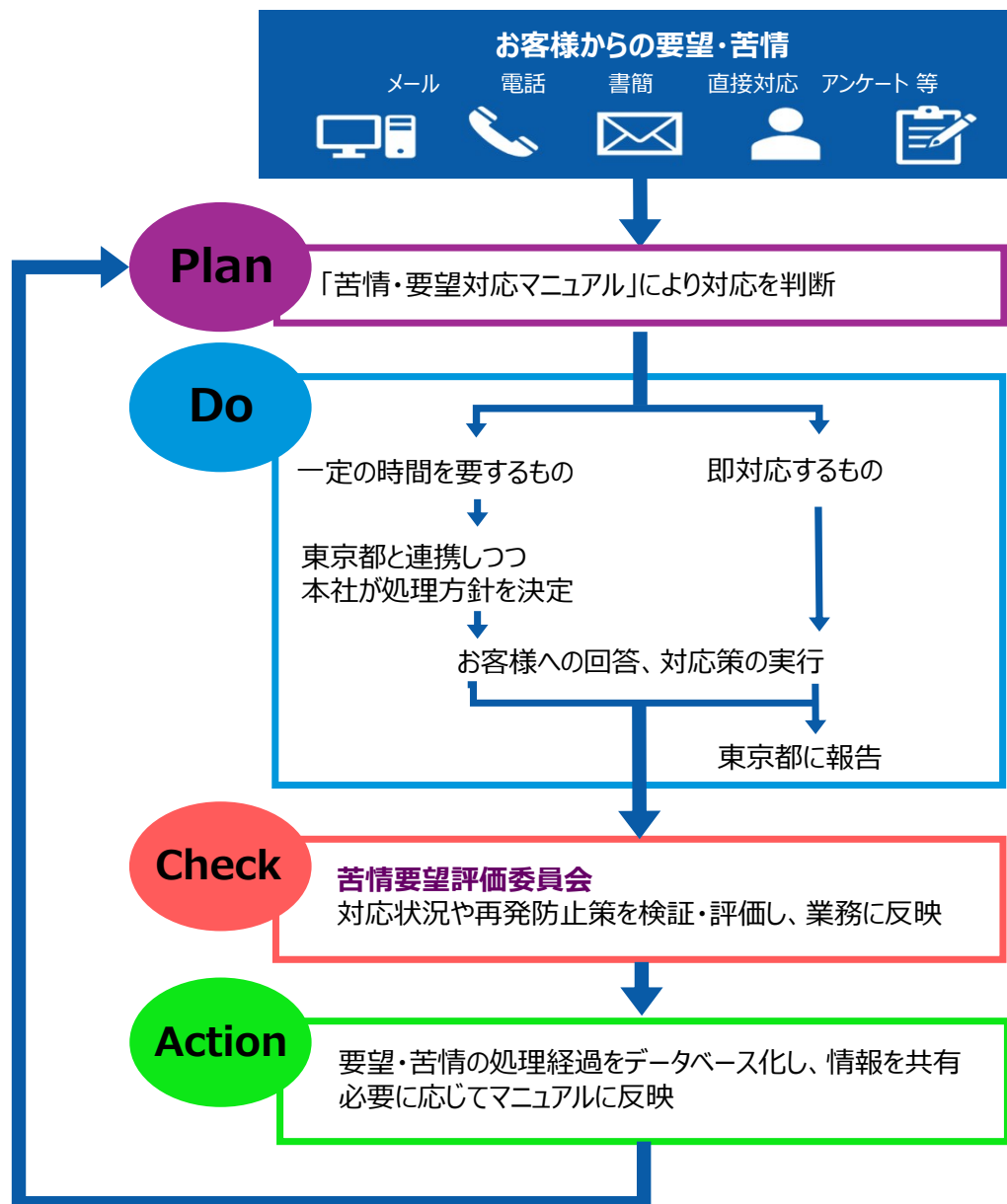
〔計画：P〕 基本的な処理方針や判断基準を定めます。

〔実施：D〕 方針に基づき、苦情等の対応を行い、経過や対応結果を組織全体で共有し、安定したサービスを提供していきます。また、対応結果について、施設内掲示等によりお客様へ情報発信します。

〔評価：C〕 対応結果について、A社幹部社員で構成される**苦情要望評価委員会**(月次開催)に報告し、評価、検証します。

〔改善：A〕 改善の必要がある場合は、マニュアルを改訂し、スタッフに周知することで再発防止を図ります。

要望・苦情のPDCAサイクル



3 具体的な対事例

場所	要望	改善策
ゴルフ場	「予約をとりやすくしてほしい」 「予約に費やす時間がとても負担だ」	東京都及び予約システム開発業者、弁護士等と詳細に協議を重ね、全ての予約を抽選制に変更しました。一定の募集期間を設け、期間中は24時間応募できるよう利便性を高めたことで、お客様満足度の向上につながりました。
海釣り施設	「混雑時でも利用しやすくしてほしい」	混雑時の竿出しを2本にするルールをお客様に理解いただくため、巡回時のお声掛け、注意看板の設置や、定期的な放送の呼びかけを実施し、改善につなげました。
サイクリングロード	「サイクリングロードのスピードの出し過ぎを注意してほしい」	お客様から見やすく、わかりやすく創意工夫した注意看板の設置や巡回時のお声掛け、定期的な放送の呼びかけ、死角を解消する緑地管理により、安全強化を図りました。

(4)都民協働や地域コミュニティとの連携による公園等の魅力や地域の価値の向上につながる取組

1 基本的な考え方

都民や地域コミュニティとの連携または協働は、地域の活性化やエリア全体の価値向上に寄与するために不可欠です。当グループでは、自然豊かなレクリエーション空間を活かし、関係団体や都民、地域のコミュニティと力をあわせてイベントや協働事業を行い、公園の魅力をさらに高めるだけでなく、地域の価値や周辺エリアの魅力を向上させます。

2 具体的な取組

(1)関係団体等との連携または協働

【ゴルフ場】

- ① (公社)日本プロゴルフ協会との協働により、「障害者ゴルフ大会」・「ジュニアリーグ」・「ビギナーデー」・「親子シニアレッスン会」を実施します。また、(公社)日本プロゴルフ協会と共催により、障害者ゴルフの発展やジュニアゴルファー育成を目的とした基金募集を兼ねた「**スポーツチャリティ大会**」を開催します。イベントを通じて障害者や初心者及び若年層に若洲ゴルフリンクスの魅力を伝えるとともに、ゴルフの普及とゴルフ業界の発展につなげます
- ② (公社)日本プロゴルフ協会との協働により、「障害者ゴルフ大会」を通じて、プロゴルファーや学生ボランティアが選手のプレー等をサポートしながら、コミュニケーションを取り、合理的配慮の理念を啓発し、インクルーシブへの意識を高めます。
- ③ (公社)日本プロゴルフ協会会員プロゴルファーのボランティアによって、レッスンやスナッグゴルフ等スポーツイベントを開催し、ゴルフのルールやマナーを伝え、ゴルフの魅力を広くアピールし、ゴルフ人口の拡大を図ります。
- ④ ゴルフ関係団体と連携して、障害者を対象とした「**障害者ゴルフ ビギナーデー**」を開催し、障害特性に応じたスイングをプロゴルファー等から学び、障害者ゴルフの発展につなげます。
- ⑤ 視覚障害者が利用する際は、ゴルフ関係団体と連携して**ガイドボランティアを帯同**させ、安全かつ快適なプレーをサポートします。
- ⑥ ゴルフ業界団体と綿密な連携を図り、最新のトレンドを常に把握するとともに、安全面やサービス、運営ルール・マナーについて、スタッフやお客様の声をモニタリングする**マーケットミーティング**を開催し、管理運営へ適確に反映します。
- ⑦ コース管理におけるこれまで培った技術や科学分析データをもとに芝草学会への研究発表をきっかけに、他の研究結果を情報共有し、若洲ゴルフリンクスのコースクオリティを高めるとともに、芝草分野のさらなる進化を目指します。



「ゴルフ場 開放デー」のスナッグゴルフ
(公社)日本プロゴルフ協会との協働
ボランティアのプロゴルファーが丁寧に指導



イメージ写真

「マーケットミーティング」
ゴルフ関係団体やお客様、スタッフが
集い、お客様へモニタリング



「シーフロントミュージアム」
若洲ヨット訓練所との協働
ヨットで海を楽しむ ヨット体験乗船

【海釣り施設及び関連園地】

- ① (公財)日本釣振興会及び東京都釣りインストラクター連絡機構と協働し、初心者や女性、親子等やニーズや季節に応じた、「釣り教室」を開催し、海釣りの方法やルールやマナーを啓発し、海釣りの魅力を伝えるとともに、資源・環境保護のため「稚魚放流」や海中清掃を行います。
- ② 若洲ヨット訓練所及び江東区立若洲公園、関係団体と協働して、若洲地区の公園を一体的な利用で楽しむ、一般参加型のイベント「シーフロントミュージアム」や「クラフト教室」、釣りとバーベキューを満喫する「アウトドアフィッシング」を開催し、公園と地域の魅力向上を図っていきます。
- ③ サイクリング関係団体と連携により、サイクリングロードの定期的な利用状況の確認や課題等を情報交換し、より良いサイクリングロードの運用につなげます。さらに、協働で「**安全講習会**」を実施し、安全な自転車利用を啓発します。
- ④ 東京都共催のサイクリングイベントである「GRANDCYCLETOKYO「レインボーライド」」や江東区主催ののマラソンイベントである「江東シーサイドマラソン」に協力し、公園の利用機会の拡充につなげていきます。



「アウトドアフィッシング」
江東区立若洲公園との協働
釣りとバーベキューを楽しむイベント
釣りインストラクターによる魚の捌き方指導

(2)都民協働及び地域コミュニティとの連携

【ゴルフ場】

- ① 「**ゴルフ場 開放デー**」で、公園のある15号地の埋立経緯が学べるパネル展示を行い、海上公園の設置目的でもある「海の都民への開放と自然環境の保全や回復」を成功事例として、参加者へ伝え、公園の価値及び地域の価値を高めていきます。
- ② 潜在的なニーズを収集するため、一般募集によるお客様との意見交換を行う**満足度調査ミーティング**を定期的を実施し、いただいたお声をもとに新たなプレイスタイルやサービスに反映し、快適な利用環境の形成につなげ、お客様満足度を向上させます。
- ③ ゴルフコースは貴重な都民の財産であり、都民とともに施設の魅力を高めていくため、コースの維持管理やルール・マナーに対して、お客様(都民)にも賛同いただけるようポスターや動画等で喚起するとともに、安全で快適な利用を促す誓約**(若洲グッドマナー宣言)**等へ協力いただき、持続可能なコースづくりを行います。
- ④ 都内ゴルフ連盟と協働で**フェローシップ委員会**を設置し、ゴルフ場内におけるルールやマナー啓発をお客様目線で適確に発信する方法等を協議し、より安全・安心で快適な利用環境を形成します。
- ⑤ ゴルフ関係団体と協働で**東京2020大会懇談会**を開催し、東京2020大会の振返りやナショナルチームを身近で支えた方を招き、スポーツ全体の発展に向けた新たな取り組みについて、意見交換します。

【海釣り施設及び関連園地】

- ① 若洲地区企業で構成する協議会会員として、防災・路上駐車対策・地域のクリーンアップの活動を実施します。
- ② 企業のクリーンアップ活動等の「環境美化活動」で受入れ、企業の社会貢献活動の実施に寄与します。
- ③ 隣接する若洲ヨット訓練所や江東区立若洲公園、東京ゲートブリッジや港湾道路を管轄する東京都港湾局と定期的な情報交換を行うとともに、災害時の連絡体制の構築、事故防止を図ります。
- ④ 他の海上公園と連携して「フォトコンテスト」や「スタンプラリー」、「ガイドツアー」を実施し、公園の魅力を紹介するとともに、各海上公園の回遊を促すツールとして「**シェアサイクル**」も設置し、公園の活性化を図り価値を高めていきます。
- ⑤ 東京港野鳥公園と連携し、生物の「**生態調査**」を行い、結果と保全方法を発信する、「**自然観察会**」を実施します。
- ⑥ ボランティアを募り、園内の景観づくりとして「花壇づくり」を実施し、都民の公園への愛着を深めていきます。

都民協働や関係団体との連携 関係図



(5)公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

1 基本的な考え方

公園の魅力をこれまで以上に高め、さらなる利用促進を図っていくためには、多様化するお客様ニーズを適確に捉えるとともに、公園の持つ様々な特性が活かされた事業を推進していくことが重要と考えます。

当グループは、長年の海上公園の管理で培ったイベントの企画運営力、江東区立若洲公園等の一体管理や関係団体との連携力を発揮して、お客様目線に立った魅力ある自主事業を展開し、公園の活性化を図っていきます。

なお、資金調達については、ゴルフ場の自主事業及び関連園地の自動販売機の収入、イベント参加料によって行います。

2 施設別 自主事業

【ゴルフ場】

若洲ゴルフリンクスのより一層の魅力向上や利用促進、利用満足度を高めていくため、多様なニーズに応えたお客様サービス及びゴルフの普及振興を図る様々な自主事業を展開します。

事業名	内容	魅力向上	利用促進	満足度向上
ゴルフ場開放デー	緑あふれるコースの景観を楽しみながら、芝すべりやスナッグゴルフ等のアトラクションのほか、 東京2020大会懇談会 や環境学習を同時に開催	◎	○	—
ゴルフ今昔体験	ゴルフの歴史を感じてもらえる ゴルフ殿堂スペース を設置し、参加者は古典的なクラブやボールを使用しながら、ラウンドを体験	◎	○	—
シニア&親子レッスン会	(公社)日本プロゴルフ協会と協働で健康増進と生涯スポーツとしてゴルフを楽しんでもらうため、シニア・親子の多世代を対象としたレッスン会を開催	○	◎	—
ゴルフスクール&レッスン	(公社)日本プロゴルフ協会及び(一社)日本女子プロゴルフ協会と連携して、初心者から上級者を対象にレッスンを開催	○	◎	—
若洲ゴルフアカデミー	B社顧問(日米賞金女王・世界ゴルフ殿堂入り女子プロゴルファー)監修 により、楽しみながらスイングの本質や理論が学べる格別なレッスンを実施	○	◎	—
ビギナーデー	初心者を対象に、ゴルフ関係団体と協働による座学からコースデビューまでゴルフ上達に向けたサポートイベント「ビギナーデー」を開催	○	◎	—
障害者ビギナーデー	(公社)日本プロゴルフ協会と協働により、障害者ゴルフの発展につなげる「 障害者ビギナーデー 」を開催	○	◎	—
ジュニアリーグ	(公社)日本プロゴルフ協会と協働によるチーム対抗による競技性の高いジュニア大会を開催。アスリート志向を養い、ゴルフを通じたコミュニティを形成	—	◎	—
9ホールプレー	ゴルフを手軽に楽しみたいというニーズにあわせ、9ホールプレー(早朝・薄暮・ナイターイベント)で、豊富なプレースタイルを提供し、利用機会を拡大	○	◎	—
スポーツチャリティ大会	(公社)日本プロゴルフ協会と共催によるジュニアゴルファーの育成や「障害者ゴルフ大会」の開催に向けた基金を募る大会を開催	○	◎	—
託児所事業	お客様からの声をもとに子育て世代が利用しやすいよう、「 託児所 」を東京都と協議のうえ、設置	○	◎	—
キャディ事業	技術・接客等の備わった質の高いキャディを配置。ニーズの高まるセルフプレー枠においても各所にキャディを配置し、安全管理やプレーサポートを実施	—	◎	○
カート事業	GPSナビ付乗用カートを全組へ導入。 フェアウェイへの乗り入れ を可能とし、歩行が困難な方にも利用の機会を創出	—	◎	○
食堂・売店	旬の素材や東京でとれた新鮮な食材等を使用した若洲ゴルフリンクス名物を提供。また、売店ではインターネット販売にも対応	—	◎	○
練習場玉貸し機・時間延長	各階に玉貸し機を1台設置するとともに、お客様のライフスタイルにあわせて利用いただけるよう営業時間を6:30~22:00に延長	—	◎	○
都民優待デー	都民限定で安価に利用できる感謝デーを 週1回 開催し、都民が利用しやすい環境を提供	○	○	◎
シニア・レディース優待デー	休場日を活用し、安価に利用できるシニア及び女性限定の優待デーを開催し、ゴルフ利用者層のさらなる拡大	—	○	◎
障害者ゴルフ大会	(公社)日本プロゴルフ協会と協働により、多くのボランティアとともに「障害者ゴルフ大会」を開催	—	○	◎

※一部の事業名は仮称

【海釣り施設及び関連園地】

海釣り施設及び関連園地の特徴を活かすとともに、隣接する江東区立若洲公園や若洲ヨット訓練所、関係団体とも連携した多種多様な魅力ある自主事業の実施により利用を拡大し、公園の賑わいを創出していきます。

事業名	内容	魅力向上	利用促進	満足度向上
釣り教室	(公財)日本釣り振興会や東京都釣りインストラクター連絡機構と協働で初心者や女性、親子等を対象とし、ニーズと季節に応じた「釣り教室」を開催	○	◎	○
海釣り大会	海釣りファンの獲得と冬の利用促進のため、対象魚別の「海釣り大会」を開催	○	◎	—
アウトドアフィッシング	江東区立若洲公園と各々の特徴を活かしながら連携して、釣りとバーベキューを同時に楽しむことで、公園の一体利用を促すイベント	○	◎	—
シーフロントミュージアム	若洲ヨット訓練所、江東区立若洲公園、NPO法人と連携し、園内全体でのワークショップ等を実施する参加型のイベント	◎	○	—
シェアサイクル	アクセスの向上と、海上公園の水辺と緑地空間の連続的な利用を促す「シェアサイクル」を設置	○	◎	—
サイクリング安全講習会	サイクリング関係団体と連携し、自転車の安全利用等を啓発する「安全講習会」を開催	◎	—	○
フォトコンテスト	若洲海浜公園や海上公園の魅力をテーマにした「フォトコンテスト」	◎	○	—
スタンプラリー	他海上公園と連携し、水と緑のネットワークを活かした「スタンプラリー」を開催	◎	○	—
クラフト教室	江東区立若洲公園と協働により、クリスマスリース等を製作する教室	◎	○	—
ガイドツアー	他の海上公園と連携し、各公園を巡る「ガイドツアー」を開催	◎	○	—
ナイトツアー	夜の公園を巡り、自然観察と新たな魅力発信を行うイベント	◎	○	—
生態調査	東京港野鳥公園と連携し、公園全体の生物の「生態調査」を実施	◎	—	—
自然観察会	公園全体の生物多様性について、「生態調査」の結果を踏まえた「自然観察会」を開催	◎	○	—
花壇づくり	ボランティアを募り協働で、園内の景観向上を図る「花壇づくり」を実施	◎	○	—
稚魚放流	(公財)日本釣振興会と協働で、海釣り施設水域内に「稚魚放流」を実施	◎	○	○
環境美化活動	近隣地域や企業、関係団体と協働して、クリーンアップ活動等を実施	◎	○	○

※一部の事業名は仮称

3 収益の還元

自主事業の収益は、さらなる自主事業の充実や、施設利用の安全性・快適性の確保、満足度向上を図るお客様サービスの資金として、公園施設及び都民へ還元します。

(1)施設への還元

公園施設の安全性や快適性を向上させる施設補修等	ゴルフ場カート道路の補修、ゴルフコースの補修、地盤沈下調査 等 サイクリングロードや遊歩道の補修、案内看板等の充実、生物多様性の保全 等
災害用備品の充実	マスク、アルコール消毒液、非常食 等

(2)都民サービスへの還元

【ゴルフ場】

お客様サービスの充実	マイボトルキャンペーン、簡易カイロの配布、高機能ヘアケアグッズ無料レンタル、アメニティ充実 等
熱中症対策	無料ドリンク・塩飴・保冷剤の配布、ミスト発生装置・スポットクーラーの設置 等
「ゴルフ場 開放デー」の開催	スナッグゴルフ、移動動物園、カートツアー等の運営全般の費用

【海釣り施設及び関連園地】

各イベントの開催	「釣り教室」、「シーフロントミュージアム」、「自然観察会」、「環境美化活動」等の運営費
熱中症対策	日よけテント、無料ドリンク・塩飴、経口補水液の等の購入
ノベルティーグッズ等の購入	ノベルティーグッズ、イベント時の景品の購入

(6)東京2020大会レガシーを継承する取組

1 基本的な考え方

東京2020大会の成果を未来へつなぐため、ハード・ソフト両面にわたり様々な取組を推進することが重要です。都民、企業等と連携しながら、東京2020大会レガシーを継承する取組を実施します。

構成	～レガシーの9つの分野～				出典：「TOKYO2020レガシーレポート」
(1)安全・安心	(3)スポーツ・健康	(5)文化・観光	(7)環境・持続可能性	(9)被災地復興支援	
(2)まちづくり	(4)参加・協働	(6)教育・多様性	(8)経済・テクノロジー		

2 具体的な取組

(1)安全・安心

危機管理の強化

災害対策	●「大規模地震等発生時初動対応マニュアル」「緊急時アクションマニュアル」を制定し、それに基づいた実地訓練を実施します。多言語化等ユニバーサルデザインによる避難誘導看板や災害用備品の設置等、有事の際は一時受け入れ体制を整えます。 ●急激な天候異変等の際は、最新の落雷情報システムを活用するとともに、気象予報士と連携して、より正確な情報を入手し、安全かつ迅速に避難誘導を行います。
サイバーセキュリティ対策	●トラフィックレポートの共有、他施設でのサイバー攻撃及びセキュリティ事例の情報共有、対策等を定期的に協議して、あらゆるサイバー攻撃に対応したセキュリティの強化を図ります。

(2)まちづくり

地域の活性化とエリアの価値向上

地域の活性化	●若洲地区企業で構成する協議会会員として、防災・路上駐車対策・地域のクリーンアップの活動を実施します。
ベイエリアのアクセス向上	●サイクリングロードが安全かつ快適に利用できるよう、地盤沈下による不陸や雨水滞留に細心の注意を払い、迅速に対応するとともに、若洲海浜公園内に「シェアサイクル」を設置し、ベイエリアのネットワークを結び、利用を促進します。

(3)スポーツ・健康

気軽にスポーツに参加する機会を提供

スポーツフィールド・東京に向けて	●若洲海浜公園がコースルートとなる「GRANDCYCLETOKYO「レインボーライド」」に協力します。 ●初心者を対象に、ゴルフ関係団体と協働でゴルフ上達に向けたイベント「ビギナーデー」を開催します。 ●(公社)日本プロゴルフ協会と共催で障害者ゴルフの発展やジュニアゴルファー育成を目的とした基金募集を兼ねた「スポーツチャリティ大会」を開催します。
アスリートが活躍できる環境の整備	●ジュニアを対象とした「ゴルフスクール&レッスン」やチーム対抗による競技性の高い「ジュニアリーグ」を開催して、コミュニティづくりと生涯スポーツとして継続できるゴルフ環境の形成をサポートします。
パラスポーツの振興	●ゴルフ関係団体と連携して、障害者を対象とした「障害者ゴルフ ビギナーデー」を開催し、障害特性に応じたスイングをプロゴルファー等から学び、障害者ゴルフの発展につなげます。 ●(公社)日本プロゴルフ協会と協働で「障害者ゴルフ大会」等を開催し、安全で快適にプレーできるコース作りを行うとともに、学生ボランティア等が選手とコミュニケーションを取ることで、合理的配慮の理念を啓発し、インクルーシブへの意識を高めます。

(4)参加・協働

都民参加と協働・ボランティア文化の定着

都民参加と協働	●ゴルフ関係団体と協働で東京2020大会懇談会を開催し、大会の振返りやナショナルチームを身近で支えた方を招き、スポーツ全体の発展に向けた新たな取り組みを意見交換します。 ●企業のクリーンアップ活動の受入れを行い、企業の社会貢献活動の実施につなげます。
ボランティア文化の定着	●視覚障害者がゴルフ場を利用する際は、ゴルフ関係団体と連携してガイドボランティアを帯同させ、安全かつ快適なプレーをサポートします。 ●ボランティア活動を「東京ボランティアレガシーネットワーク」のWebサイトに掲載、発信することでボランティアの普及につなげます。

(5)文化・観光

芸術文化を気軽に楽しめる空間づくり

ゴルフ文化の継承	● ゴルフの歴史を感じてもらえる ゴルフ殿堂スペース を設置し、古典的なゴルフクラブやボールを使用しながら、ラウンドする 「ゴルフ今昔体験」 を開催し、ゴルフ文化を学べる機会をつくれます。
芸術イベントの開催	● アーティストによるワークショップ等参加型のイベント「シーフロントミュージアム」を開催し、気軽に芸術を楽しめる空間をつくれます。

(6)教育・多様性

バリアフリーに向けた取組や障害者の方に対する配慮

共生社会の実現	● 全スタッフを対象に合理的配慮研修を実施し、必要かつ合理的配慮に関する知識を深めます。 ● 障害特性に応じた就労場所や就労時間のフレキシブル対応を行うとともに、関連機関(障害者就業・生活支援センター等)との連携により、助言等をいただき、快適な職場環境をつくれます。 ● 女性をはじめとする子育て世代が利用しやすいよう、東京都と協議した上で総合管理センター内に「託児所」を設置し、手ぶらでお越し頂けるようアメニティの充実を図ります。
バリアフリー化の推進	● バリアフリーマップを整備し、災害時等のいかなる場合でも、誰もが安全・安心に過ごせる施設づくりを行います。 ● 受付窓口は手話や多言語にも対応するとともに、案内看板はピクトグラム化を進めます。 ● 全スタッフを対象に必要な合理的配慮に関する知識を深めるための研修を行います。(心のバリアフリー) ● 海釣り施設に車いす等の優先スペースを設けます。

(7)環境・持続可能性

「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」の実現に向けた取組

「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」の実現	● 公園全体で使用する電力は水力発電による環境にやさしいCO2フリー電気とします。その他、省エネルギーの推進や再生品の使用等、管理運営業務全般において、環境に配慮した取り組みを推進します。 ● ソーラーカーポートのほか、散水システム等の運用に太陽光発電を活用します。
環境に配慮した快適な都市の実現	● コース管理作業において、ドローンに搭載した特殊カメラで水分量や植生状態を把握し、無駄のない適所適量な散水を行うことで、水の使用量を削減します。 ● 食堂では、フードロスの削減のため、工夫したメニューづくりと独自の管理システムを活用し、徹底した在庫管理を行います。 ● 剪定枝はチップ化し、歩経路等のクッション材として園内リサイクルするとともに、刈芝は目土修復に使用します。 ● プロショップでオリジナルエコ商品を展開し、使い捨てプラスチックの削減を徹底して行います。 ● ジュニアスクールで使用するクラブは、成長にあわせ不要になった卒業生のクラブを次世代の参加者へリユースします。 ● コース内不陸補修等で撤去した芝は、関連園地や他の海上公園で再利用します。

(8)経済・テクノロジー

各種手続きのデジタルシフト

テクノロジーの活用	● ゴルフ場では、予約から精算までをスマホひとつでスムーズかつ快適に利用できる環境を提供します。(スマートラウンドEVO) ● イベントの受付はWeb申し込みとし、参加料の支払いはキャッシュレスにも対応します。 ● 撮影申請はWebから専用システムにより、24時間受付とします。
-----------	--

(9)被災地復興支援

被災県との交流を深める取組

東北製品の魅力発信	● ゴルフ場 売店で岩手県、宮城県、福島県の被災3県の特産品を販売する「東北3県ふるさと市」を開催し、東北の魅力を発信します。
-----------	---

4 維持管理等計画

(1)適切な維持管理を行うための取組

1 維持管理の基本方針

当グループは、これまでの適切な維持管理によって、若洲海浜公園に美しく自然豊かな空間をつくり、多くの都民に親しまれるレクリエーション活動の場とし、様々な生物が育む生態系も保全してきました。今後も本公園ならではの都民サービスを提供していくためには、地盤沈下やメタンガスの発生等の環境特性を把握し、適切に対応していくとともに、施設の老朽化や環境保護等にも十分注意を払い、安全・安心で快適な利用環境を保持する維持管理を行うことが重要と考えます。

維持管理にあたっては、東京都の維持管理方針や仕様書を踏まえた「維持管理ガイドライン」のもと、「**パークメンテナンス方式**」により、品質確保や業務の検査を行い、改善を進めながら実施します。

2 具体的な取組

【ゴルフ場】

ゴルフコースの管理水準を常に高く維持することは、お客様の高い満足度を維持するための基本事項と考えます。

今後さらに多くの都民に愛される満足度の高いゴルフコースとしていくため、「**環境特性に適応したコースコンディションづくり**」、「**周辺施設とマッチした景観づくり**」、「**環境負荷低減と持続可能なコース管理**」に重点をおき、これまでの経験で培った高度な管理ノウハウと最先端の専門技術を駆使し、以下のとおりコース管理に取り組んでまいります。

(1)環境特性に適応したコースコンディションづくり

グリーン	● ドローンに搭載した特殊カメラによる水分量や植生の分析のほか、芝密度や土壌内の透水性、三相分布、有機物の状態を定期的に検査し、それらの結果に基づく適確な施肥や散水等を行い、病害虫や異草種の混入を防ぎ、芝の耐久性を向上させます。 ● 最新の吸排気システムで空気を芝の根圏層へ直接供給し、二酸化炭素等の有害ガスを排出、土壌中の水分量や芝地表層の温度を調整して、芝を健全な状態に保ちます。 ● 若洲は地温が高く、強い風が吹いているため、保水状態を常に監視しながら適確な散水が必要です。乾燥によって引き起こされる病害虫の発生を防ぐため、適切な予備散水や樹木による日照と防風のバランスを考慮した植栽管理を行い、芝にとって良好な育成環境をつくります。 ● 芝の回復力をこれまで以上に高めるため、計画的に乾燥や踏圧を与え、ストレス環境に慣らして、細胞壁を強くし、芝本来の強さを引き出すことで、耐久性を向上させ、多くの利用に応えます。 ● 日々のボールの転がり速度及びコンパクション(堅さ)計測、触診に加え、葉身分析(NPK等の成分含有確認)を実施し、結果に基づく施肥等を行うことで、ハイレベルなコースコンディション維持します。
フェアウェイ及びラフ	● DXを活用したGPS搭載無人芝刈り機の増台により、高度かつ効率的な刈込作業を夜間に実施し、日中作業の時短、コース管理の最適化を図り、利用枠の拡大とコースクオリティの向上を実現します。 ● 地盤沈下等の影響による排水不良は、常に現状を見極め、日常的には特殊機械の活用で適宜対処し、状況によっては暗渠新設や不陸補修で解消して土壌の排水性や通気性を適切に保ち、芝の健全な生育環境を維持します。これにより、芝の耐久性を高め、コースコンディションの向上を図り、乗用カートの乗り入れ(天候等の条件あり)も可能にします。 ● 踏圧等によって発生する土壌固結へは、ドローン搭載の特殊カメラで地温分析を行い、早期に発見し、エアレーションと目砂散布を同時に行い、作業機械による芝や土壌への加重負荷を最小限にできる特殊機械によって固結を解消し、通気性等を向上させ、多くの利用に耐え得るコンディションを維持します。 ● 刈カスは場外処理せず、環境に配慮した有機物分解剤によって還元し、微生物を活性させ、根張りの充実を促すことで、耐久性の高い芝を育てるとともに、フェアウェイ及びラフへの化学肥料ゼロとします。 ● 美しいコースづくりで必要不可欠なディボット跡の修復は、スタッフ直営による日々の状況把握と修復(目土作業)や、お客様へプレー時の随時修復の協力を推進して徹底します。
その他	● ティーイングエリアは、地盤沈下等による不陸を適宜補修してオーバーシードや更新作業をこまめに行い、耕種防除によって、一年を通して均一な芝の密度を保ち、良好な利用環境と美しい景観を形成します。 ● バンカーの地盤沈下等による排水不良へは、特殊機械の導入や暗渠の新設を行うとともに、定期的な砂の入れ替えやふち切りを実施し、美しい景観を保ちながら快適な利用環境をつくります。 ● 歩経路や階段、橋等は、コース管理スタッフ及びキャディ等により、日々点検を実施して、不具合を予測し、予防的に適切な修繕を行うことで、常に安全で快適な利用環境を維持します。 また、集水枟や側溝は、日常点検及び清掃によって、常に良好な排水状態を維持します。 ● 池は、適宜清掃や汚泥除去、定期的な水質検査を実施して、コース内の景観と水質の維持を図ります。 ● 専門部会及びコース監修者等の視察を定期的に実施し、助言や評価をもとに、コースのクオリティや作業検証を繰り返し行い、さらなるお客様満足度や品質向上につなげる管理手法を協議し、決定します。



GPS搭載 無人芝刈り機
熟練者の技術を記憶・再現
させ、高度・効率的な作業で
クオリティ向上等につなげる



フェアウェイ 排水不良改善
特殊機械で土壌へ筋状
の溝をあけると同時に砂
を入れて排水を促す



フェアウェイ 土壌固結改善
特殊機械でエアレーションと目
砂を同時に行うことで、機械の
作業走行を半減させ、芝や土
壌への加重負荷を抑える



バンカー 排水改善及び景観向上
特殊機械による排水改善に加え、
ふち切り等により美しい景観をつくる

(2)周辺施設とマッチした景観づくり

- ① 樹木の成長や周辺風景の変化にあわせ、コース監修者や樹木医、造園技能士等監修のもと景観を修正し、18ホール全てにおいて美しさと戦略性を併せ持った、お客様の心に残るコースを創造します。
- ② 主要樹木約3,000本にナンバリングを行い、海風の強さや塩害等、若洲特有の生育条件を踏まえた点検シートに沿って、日々健康観察を行い、適切な剪定や施肥等を実施することで、機能性と美観に配慮した樹木管理を実施します。
- ③ 風通しを考慮した樹木の剪定等を適切に行い、**緑と風のチカラを活かした維持管理**(P.26-1記載)を実施することで、酷暑でもお客様が安全で快適に利用でき、植物や生物にも健全な生育環境をつくります。

(3)環境負荷低減と持続可能なコース管理

- ① **総合防除の手法**を基本とし、適切な剪定による物理防除等によって、化学防除を最小限にするため、あらゆる技術を組み合わせ、生物多様性の保全を行い、持続可能なコース管理を行います。
- ② 樹木の**剪定枝はチップ化**し、歩経路等のクッション材として**園内リサイクル**します。
- ③ 散水や雨水が池に貯留できるよう**グリーンインフラ(レインガーデン)**を設置し、散水への再利用や土壌の透水性を向上させるとともに、池の水量や水質を維持し、生物にも配慮したコースをつくります。
- ④ コース内に生息する生物を**東京港野鳥公園と協働によって、「生態調査」**により、さらに生物が住みやすい環境の保全方法を検討し、コース管理へ反映させます。



【海釣り施設及び関連園地】

若洲海浜公園は、都内唯一の海釣り専用施設や磯遊びができる人工磯、広大な海を眺望しながらサイクリングを楽しめる一周3kmの緑の楽園などを有していることから、手軽なレジャーの拠点として多くの人々で賑わいます。

当グループは、これらの特性に配慮しながら施設の価値を引き出していくため、「**予防管理による安全性と快適性の確保**」、「**緑と海の生態系と景観を育てる**」、「**環境配慮やユニバーサルデザインへの対応**」を方針とし、これまで積み重ねた経験とノウハウを最大限に活用して適正な維持管理を行います。

(1)海釣り施設

- ① 転落防止柵や救命設備などの不具合は、日々の巡回等により点検・発見して、迅速に処理する予防管理の手法を基本とし、お客様の安全を第一に考えた維持管理を行います。
- ② 非常通報設備・放送設備・足元灯・救命用門扉や救命梯子の安全点検、救命浮輪の設置確認など、生命に係わる設備・用具点検を徹底します。
- ③ 関係団体やボランティアとの協働による「環境美化活動」で、清潔で快適な釣り場環境を維持します。
- ④ 若洲ヨット訓練所の協力のもと計画的な海上パトロールにより、海側から護岸や灯浮標等の点検を実施し、不具合発見時には迅速に対応します。
- ⑤ 海上漂流物や漂着物がある場合は、A社海上清掃部隊や港湾管理者等と迅速に連携・対応するなど、法令を遵守した水域管理を着実にを行います。



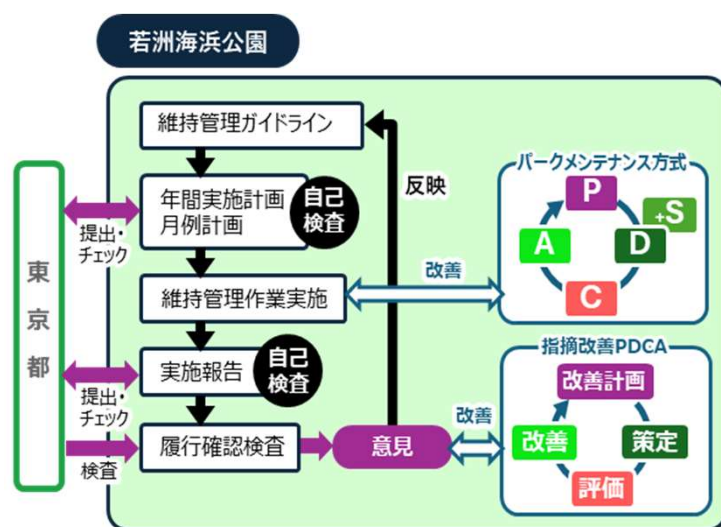
(2)関連園地

- ① ゴルフ場の場外飛球から散策やサイクリング等で来園するお客様の安全を確保するため、防球設備の点検と計画的な補修を徹底し、不具合発見時は応急措置も含め迅速に対応します。
- ② サイクリングロードの自転車走行ができるように、地盤沈下による不陸や雨水滞留、死角をつくり出す植栽などに細心の注意を払い、不具合があった場合は迅速に対応します。
- ③ トイレや休憩所は、防犯面にも留意した上で、清潔で明るく快適な施設づくりを徹底します。
- ④ 遊具はリスクを未然に把握して、適切に管理することを基本とします。そのため、性能確保に関する毎月の自主点検に加え、専門家の総合点検や計画修繕を実施し、安全で楽しい遊び場を提供します。
- ⑤ 園内のワイルドフラワーは、公園に訪れるお客様が楽しめるよう、適切な管理によって保全していきます。
- ⑥ 樹木の剪定は、**海や周辺施設との景観の調和や暑熱対策、生態系の維持を留意**して実施します。
- ⑦ 樹林地や草地の管理は、**公園利用の安全性と生物が住みやすい生態系の双方を確保**しながら実施し、生物多様性の保全を推進していきます。
- ⑧ ユニバーサルデザインの観点から、多言語案内板の設置や段差解消等の取り組みを実施します。



3 清掃・植栽・建物・設備等の維持管理の品質確保に向けた、指導・監督・検査・改善体制

監督・検査体制	● 業務が着実に実施されるよう、作業開始前、履行中に定期的に責任者と十分な打合せを実施し、仕様に基づき工程管理、安全管理、品質管理について細部にわたる指導監督を徹底 ● 現場へ直接出向くことが難しい場合、テレワークのノウハウを活かした「リモート監督体制」にて、現場の状況をリアルタイムに共有し、指導・監督 ● 履行中の定期検査、履行後の検査は、当グループの検査員が公正な立場での確かな検査を実施 ● 検査員・監督員は、研修を受け、一層の検査能力、監督能力を向上
検査内容の報告体制	● 定期報告 ・「パークメンテナンス方式」に基づき業務改善を図りながら報告書に反映 ・東京都の履行確認には事前に仕様書・設計書・契約書・作業報告書等を精査・準備し、検査に即応 ・指導や意見等は速やかに改善、「維持管理ガイドライン」に反映 ● 東京都と協議が必要な報告 ・事故・災害復旧等緊急時は、事実確認と応急措置を実施、速やかに報告並びに協議。 ・通常の維持管理を超えるもの、または社会性・事件性の強い事件・事故が発生した場合には、東京都と綿密な協議を進め的確に対応



(2)事故、自然災害などの社会課題への対策・対処するための取組

1 基本的な考え方と主な取り組み

若洲海浜公園は、ゴルフ場や海釣り施設等が複合する公園であるため、起きうる事故の種類也多岐にわたります。そのため、各々の施設で事故を未然に察知して防止することが求められます。仮に事故が発生した場合でも、即時対応できる体制を常日頃から整えておくことが重要です。また、近年深刻化する熱中症に対しても重要事項と捉え、施設毎で対策を強化する必要があります。当グループでは、事故予防を最重点に置き、施設の形態に応じた対策を講じるとともに、事故状況報告についても速やかに関係者への情報共有を実施できるよう、取り組んでいきます。

【ゴルフ場】

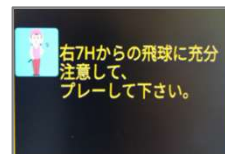
- 園地への場外飛球の防止は、フェアウェイの刈込ラインやIPフラッグの位置の工夫、キャディの注意喚起等で徹底し、公園の安全な利用環境を確保します。
- 打球事故防止は、GPSナビ画面の表示対応や適所に配置したスタッフの声掛け等で徹底します。
- 熱中症防止は、声掛けによる注意のほか、飲料やアイススラリーの無料提供等で対応します。さらに、歩行による体力の消耗を軽減させるため、**乗用カーの乗り入れ**を実施します。
- 雷等の急激な天候異変には、最新鋭の気象予報システムの活用、気象予報士との連携体制により対応します。さらに、コース内にマイクロバスを待機させ、防雷避難場所を拡充します。

【海釣り施設及び関連園地】

- 転落・立入防止柵や水域施設(灯浮標・救命梯子)は、日々の巡回点検の徹底により、常に機能を正常に保ち、漂着・漂流物にも細心の注意を払って対応し、事故を未然に防止します。
- 立入禁止区域への侵入等の危険行為は、警察や東京都と密な連携体制をつくり対応します。
- 雷、強風や波浪等の異常気象時には、ゴルフ場と同様の体制に加え、江東区立若洲公園とも連携して避難誘導等を速やかに行い、お客様の安全を確保します。
- サイクリングロード等の園地では、舗装の不陸や水たまり、樹木等による死角が生じないように、日常の巡回点検と不具合への迅速な対応を徹底し、事故を未然に防ぎます。
- 元旦の日の出時は、例年2,000人を超えるお客様が来園するため、安全対策として園内誘導や禁止行為(火気等)に、常駐警備の増員等による「特別警備体制」で対応します。さらに、お客様の利用動線となる園路の照明は、臨時点灯して安全を確保します。

【共通】

- 大規模災害や異常気象時に備え、若洲ヨット訓練所や江東区立若洲公園との合同で、実態をリアルに想定した実効性のある防災訓練(避難誘導訓練、情報伝達訓練等)を実施します。訓練結果は、評価・検証して各種マニュアルや訓練内容に反映し、より有効な防災訓練の実施につなげ、起こり得る震災や気象災害に備えます。
- 急病人等の発生に備え、全スタッフが上級・普通救命技能認定資格を取得し、心肺蘇生やAEDの操作方法を習得するほか、AEDを適所に配備して自主救護体制を徹底します。



打球事故の注意喚起
GPSナビの画面で表示



熱中症対策
アイススラリーの無料配布



防雷避難場所の拡充
コース内にマイクロバスを待機



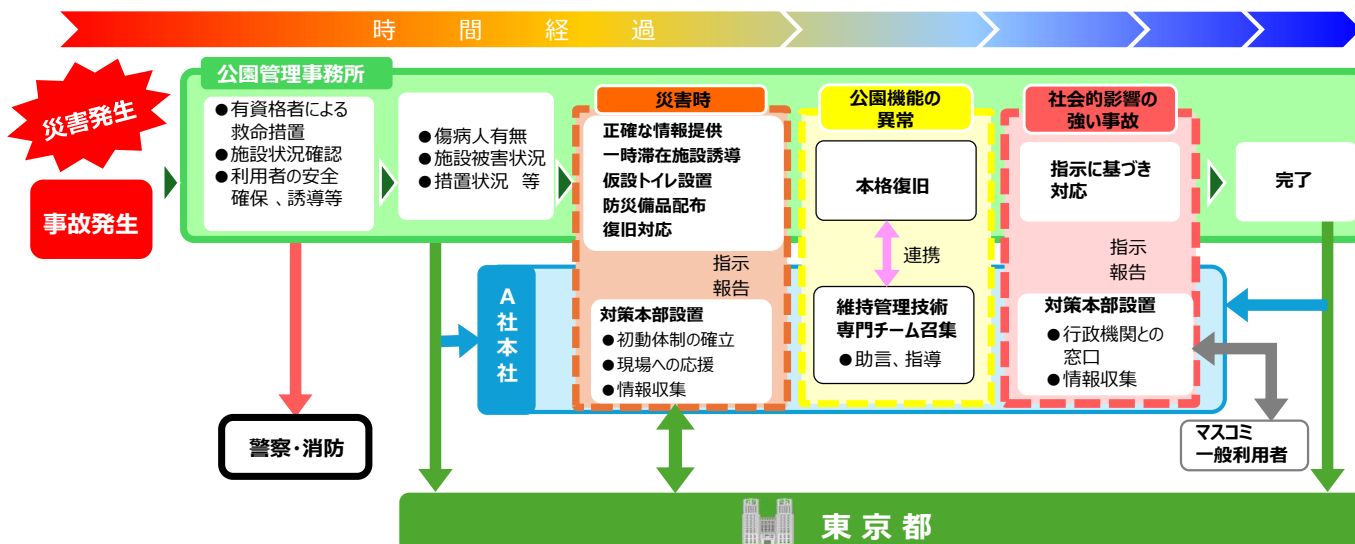
初日の出の賑わい
特別警備体制で対応



上級・普通救命技能認定
地元消防署と連携

2 緊急時の組織体制及び対応

以下の組織体制のもと、東京都をはじめとする各関係者に迅速に情報提供を行うとともに、各セクションごとの役割を適切に認識し、事態の収束に向けて対応いたします。



(1) 事故を未然に防ぐ予防策

- ① **日常運営における安全対策、熱中症・水難事故予防**
 - 受付窓口や巡回時の声かけ、園内放送により注意喚起
 - 園内サインは多言語やピクトグラムによるユニバーサルデザイン
 - 改正労働安全衛生規則を踏まえ、スタッフや委託事業者への対策周知と指導徹底
 - 産業医及び安全衛生委員会による施設点検と対策を協議
 - 打球事故へはハード面とソフト面で徹底した防止
 - 練習場の防球設備は、点検シートに基づく目視・強度確認(引張検査)を毎日実施
 - 急激な天候異変に備え、最新鋭の気象予報システムを設置し、気象予報士との連携体制を確保
 - 産業医監修の「熱中症防止ガイドライン」をもとに対応し、お客様及びスタッフ等の安全を確保
 - 水域施設(安全柵、救命浮環、灯浮標等)や漂着物の点検を徹底
 - ゴルフ場の予約管理など法令及び規程、マニュアルに基づく、適正な管理体制によって個人情報の保護を徹底
- ② **イベント開催中の事故予防**
 - 東京都等のイベント開催方針や関係団体ガイドライン遵守、誘導員配置等安全対策を徹底
- ③ **樹木の生育や園路状況による事故予防、蚊などの生物被害予防**
 - 予防管理の考え方を柱とした「パークメンテナンス方式」による維持管理を徹底
 - 蚊を媒体とするデング熱などの感染症予防として、水たまりの除去や駆除剤の散布実施
- ④ **気象災害への予防**
 - 台風接近、降雪予報時は、「異常気象等対応マニュアル」に基づき事前対策を適切に実施
 - お客様の安全確保のため、実態を東京都に報告のうえ公園施設の臨時休止を相談、判断
- ⑤ **実践的な防災訓練実施による対応強化**
 - 災害時にお客様、就業者が集まることを想定した訓練を、多言語にも対応して実施
 - 簡易トイレ設営や一時滞在施設の開設情報、公共交通機関運行情報提供などを訓練



(2) 事故・災害発生時の対応

- ① **日常運営時に発生した事故対応**
 - 怪我や病気が発生した場合、上級・普通救命技能認定の資格を有する社員が応急処置
 - 公園管理事務所等にAED・救急箱を常備、必要に応じ救急要請をするなど迅速に対応
 - 急激な天候異変には最新鋭の落雷情報システムによる精度の高い情報をもとに、迅速な避難を実施
 - 海釣り施設での事故等は、緊急連絡設備を設置する江東区立若洲公園と連携して対応
- ② **公園機能に影響をもたらす事件・事故・災害対応**
 - 台風通過中は状況に応じてスタッフを配置。速やかに巡回・報告できる体制を構築
 - 被害状況に応じて安全確保措置を行い、二次的な事故被害を防止
 - 立入禁止など公園利用に影響が出る案件は、HPやSNSを活用し周知
 - 台風、大雨や雪害等による施設損壊は、スピーディーに補修等対応
 - 大規模震災時は独自に作成した「大規模地震発生時初動対応マニュアル」等により対応
 - お客様の安全確保を最優先に、迅速な避難誘導、応急処置を実施
- ③ **社会的影響の強い事件・事故対応**
 - 鳥インフルエンザの発生や公園施設の大規模損壊等には、対策本部を設置のうえ対応
 - 外来種のヒアリ等が発見された場合、関係機関に速やかに報告、連絡
 - サイバーインシデント等の特殊な事件・事故が発生した場合には、速やかに東京都に報告し、迅速な協議を進め、緊密な連携のもと適切に対処します。



(3) 関係者への報告対応等

- ① **迅速かつ正確な情報による関係者報告**
 - 正確な情報収集、東京都等関係機関へ速やかに報告。現場は警察・消防対応をサポート
 - 震災時には東京都との連絡には専用回線(MCA無線機)を確保、的確に情報伝達を実施



(4) 事故対応等の検証・対策強化

- ① **実際の対応内容を検証**
 - 各種マニュアルを再確認、有効性を検証。必要に応じてマニュアルを改正
 - 防災訓練実施時には、改正したマニュアルに基づき対応
- ② **最新情報を収集、対策強化に活用**
 - 東京都、国などの関係機関の公園施設や災害時対応の最新情報を収集
 - 各種マニュアル等に反映し、事故・災害時の対応を強化



(3)施設補修、施設改良に関する要望への取組

1 基本的な考え方

公園施設は、お客様がいつでも安全・安心な状態で快適に利用できるよう、それぞれの施設の運営実態に応じて安全管理を適確に進めていくことが重要です。

そのためには、当グループの安全管理の基本となる「維持管理ガイドライン」を最新の法令や行政が定める新たな指針・基準に適宜刷新し、安全管理者や安全衛生委員会を中心とした維持管理体制を確立させていきます。そして、計画的かつ先行的な対策を講じる予防管理の仕組みに則り、これまでのノウハウと経験を活かして効率的な管理を実現します。

こうした取り組みにあっても、都民等から修繕の要望が発生した場合は、東京都と連携を図りながら、要望の趣旨と妥当性を公平・公正に見極め、緊急度や規模を勘案し、速やかに対応します。

2 対応姿勢

(1)要望の把握

- ① お客様からの要望は、HPや電話等の様々なツールを用い、内容を正確に把握し、東京都からの要望は、定例会議や日頃の連絡により、適宜把握します。
- ② 市民協働投稿サービス「マイシティレポート」に寄せられたご意見については、即日現地の状況を確認して、対応策をHPに掲示し速やかに対応します。

(2)要望の分類

安全性に関わるか否か、緊急事案かそうでないか、規模を分類し、対応方法等を検討します。

(3)緊急を要する要望案件

お客様の安全を第一優先とし、スタッフが現場の立入禁止等の保全措置を施し、東京都と調整しながら迅速に修繕を行います。

(4)緊急を要しない要望案件

- ① 要望の趣旨と現場状況の確認等を行った上で、品質管理チームや専門部会と妥当性と解決の手法等を検討し、東京都と協議の上、安全性や快適性に留意しつつ効果的かつ効率的に復旧修繕します。
- ② 海釣り施設等の水域に関わる要望に対しては、現場を確認し、東京都との報告・協議を行いつつ、海上保安庁と調整の必要があるものは、手続きを踏まえて適切かつ着実に対応します。
- ③ 障害者対応等に関する要望は、東京都と協議しながら合理的配慮の提供を行います。

(5)大きな影響を与える修繕案件

海辺に面した護岸の異変、地盤沈下による陥没など、公園の利用に大きく影響すると考えられる案件については、品質管理チームや専門部会、A社技術専門部門と現状把握や対応方法を検討し、東京都や関係者と協議を進めて適切な提案を行い、合意した案件は可能な範囲で計画的に改善修繕を実施します。

(6)サービス向上に関する案件

暑熱対策施設の設置要望や園路のバリアフリー化など、サービス向上に関する施設要望の案件は、上記(5)と同様、品質管理チームや専門部会、A社技術専門部門と連携し、東京都への提案等を行います。

(7)評価及び検証

顛末や効果等を維持管理データベースにて管理し、PDCAサイクルに基づき評価や検証を実施します。

3 技術提案

(1)スタッフ直営によるスピーディーな対応

公園全体(ゴルフ場・海釣り施設・関連園地)において、施設の小規模な損傷や劣化部分をスタッフが直営で迅速に補修し、さらなる悪化を防ぐための予防的な措置や修繕を行います。さらに、安全衛生委員会と連携した定期的な施設点検や日常巡回での支障枝剪定等の実施により、常に安全で快適な環境を提供します。

(2)A社の技術部門との連携

当グループ代表のA社は、外貿コンテナ埠頭の総合的な管理・運営を行うとともに、客船ターミナル等の指定管理者事業、建設発生土有効利用事業、環境保全事業等、多岐にわたる業務に長年従事しており、専門的なノウハウを有しています。この技術部門と連携し、実践的なノウハウを上手く反映させることで、より効果的で効率的な管理運営を実現します。

4 経費の支出

(1) 30万円未満の修繕

30万円未満の修繕は、お客様の安全性に関わるものを第一優先とし、自らの経費で柔軟に対応します。

(2) 緊急修繕への対応

30万円以上の修繕については、年間修繕計画に組み込みます。計画書に記載がなく緊急的に修繕が発生した場合は、東京都と協議の上、既定計画や優先順位等の変更を行い、迅速に対応します。

(3) 上記に属さない異常事態への対応

緊急事態が発生し、修繕の必要性が出てきたときは、安全性を第一に応急処置を実施します。本格復旧については、東京都と協議の上、実施主体や方法を明確にし、当グループとして可能な限り柔軟に対応できるよう取り組みます。

(4) 経費の効率的執行

A社が管理する他の海上公園と協力した特約店制度の活用や、B社グループ企業との連携によって、**小規模な修繕及び委託は低コストかつ迅速に対応**します。

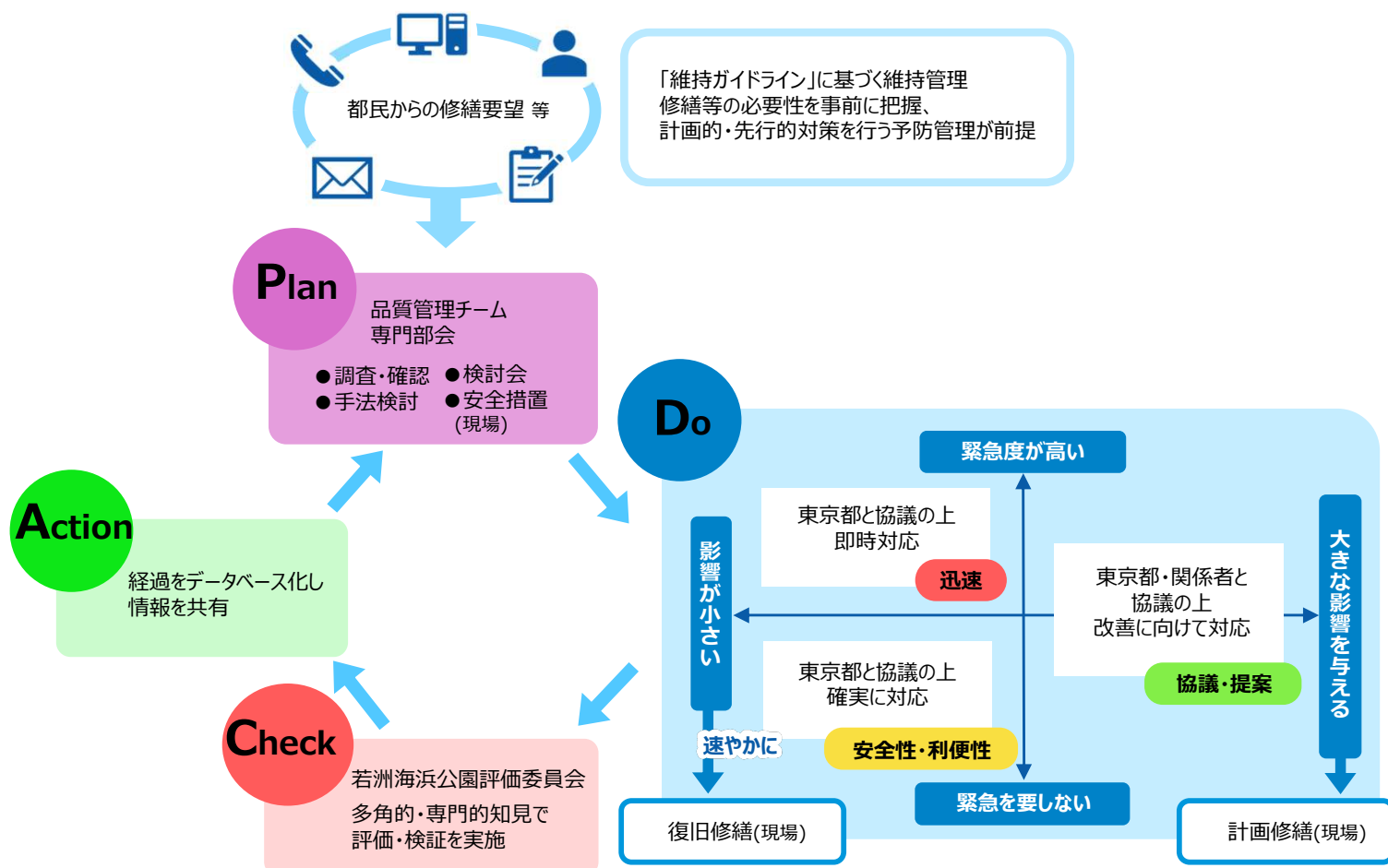
これらの**スケールメリットを最大限に活かし、修繕費用の削減かつスピーディーな対応**を図ります。

5 東京都施工工事

若洲海浜公園は埋立地の上に整備された公園で、平成2年の開園から34年以上が経過し、老朽化だけでなく地盤沈下や海風による塩害により、施設の劣化等が進行しております。

東京都が改修工事を実施する際には、当グループは、これまでの経験とノウハウを活かして、ゴルフ場等のお客様利用への影響を最小限にしながら効率的な施工が出来るよう、積極的に協力していきます。

<要望への対応フロー図>



(4)公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

1 基本的な考え方

海上公園は、都市における貴重な緑のオープンスペースとして、やすらぎやレクリエーションの場を提供するだけでなく、未来につながる持続的な自然資源として季節感や美しい景観、多様な生態系を育む場となっています。

若洲海浜公園の持つ緑の特性を活かした従来の緑地管理に加え、さらなる緑のポテンシャルを引き出す新たな維持管理を推進し、持続的に公園の価値や存在意義を高め、都市生活の質の向上と豊かな社会の実現につなげてまいります。

2 若洲海浜公園におけるこれまでの緑の特性と効果

当グループは、若洲海浜公園が持つ緑の特性を十分理解し、それぞれが有する機能を発揮させるため、「維持ガイドライン」や定期的な樹木調査等の結果をもとに、最適な手法や実施時期を見極めて緑の維持管理を実施してきました。

なお、維持管理の実行においては、継続的に検証・評価・改善を行い管理水準を高めてまいります。

緑の特性	内容	効果
樹木による防災・防風機能	公園を囲む樹林帯は、台風の強風や塩害などから建物や設備、芝を守る機能を有し、さらに風によって運ばれる砂塵やゴミ、外部からの騒音も軽減します。	安全かつ快適な利用環境
樹木による防球機能	ゴルフコース内の樹林帯は、関連園地への場外飛球や隣接ホールへの打ち込みを防止します。	安全かつ快適な利用環境
樹木による景観づくり	豊かな樹林帯が隣接する道路や工業施設を遮蔽して、緑に囲まれた非日常空間をつくります。海や空、緑が調和した美しい景観を臨みゴルフやサイクリング、散策を楽しめます。	賑わいの創出 満足度の向上 生活の質の向上
樹木による暑熱対策	樹木や低木は日射遮蔽や蒸散作用による冷却及び熱の吸収等の効果があり、暑熱対策となります。	安全かつ快適な利用環境 賑わいの創出 満足度の向上
生態系を育む	公園内には樹林帯や芝生地、草場が広がり、さらに三方を囲む海辺、ゴルフコース内の淡水池があって多様な生態系をつくり、様々な生物が生息する良好な環境となっています。	生物多様性 都民の環境活動への促進
レクリエーション空間の形成	公園全体がゴルフやサイクリング、散策、生物観察ができる緑のオープンスペースとなっているため、自然とふれあいがレクリエーションが楽しめます。ゴルフコースでは、グリーンなどの場所ごとに適した芝草を使い分けと、最適な樹木レイアウトにより、美しい景観と戦略性をつくり出し、プレイヤーを楽しませます。	賑わいの創出 満足度の向上 生活の質の向上

3 緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の取組

我々は、20年間の維持管理によって当公園を知り尽くしたノウハウを最大限に発揮し、若洲海浜公園の緑の特性をさらに引き出すための新たな緑地の維持管理に取り組み、公園の価値や存在意義を高めていきます。

新たな維持管理	内容	効果
緑と風のチカラを活かした維持管理	● 本公園特有の海風を活用し、緑を通じて公園内へ風を引き込み空気を循環させることで、気温・地温の上昇や高湿度を抑制します。 ● これにより、芝生地等の蒸れを解消して病害虫の発生を防止し、緑地の活性化につなげるとともに、暑熱対策となり熱中症リスクを軽減します。 ● これまで培ったノウハウを発揮し、緑の機能を最大限に活かすため、面的・立体的な視点で最適な手法を見極めて、維持管理を実施していきます。	安全かつ快適な利用環境 賑わいの創出 満足度の向上 生物多様性
お客様と共に育てる維持管理	● 緑を新たなコミュニケーションツールとして活用し、「ナイトツアー」や「自然観察会」等を開催して、人々が自然とふれあい、賑わって交流する空間をつくります。 ● 緑を主とした豊かな生態系をつくる維持管理を実施し、多様な生物の生育を促して生物多様性の保全に繋げ、その状況を都民へ積極的に発信して公園への愛着を共有します。	賑わいの創出 満足度の向上 生物多様性 生活の質の向上 都民の環境活動への促進
持続可能な維持管理	● 健康で強い緑を目指し、緑がもつ本来の力を引き出します。 ● 総合防除による管理を基本とし、薬剤や肥料に頼らず、剪定による物理的防除や天敵利用の生物防除など、あらゆる技術を組み合わせ、病害虫の発生を抑止した生育環境をつくり、生物多様性の保全にもつなげた持続可能な緑地管理を実行します。	賑わいの創出 満足度の向上 生物多様性

緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理を加えた 園内イメージ



緑と風のチカラを活かした維持管理



樹木管理は、樹種や適期、密度等の空間を踏まえつつ、面的・立体的な視点で樹木の状態を1本1本見極め、緑の機能を発揮させる最適な手法で実施します。この手法により、防球機能や遮蔽性等を維持したまま、季節に応じた日照や風の通り道を確保し、緑地の活性化による生物多様性の環境を維持します。

お客様と共に育てる維持管理



緑を主とした豊かな生態系をつくる維持管理を実施して、緑を新たなコミュニケーションツールとして活用し、「ナイトツアー」や「自然観察会」などを開催して、多くの人が自然と触れ合い、賑わい交流する空間をつくります。

持続可能な維持管理(若洲海浜公園内の生物多様性)

①樹林帯周辺 ●環形動物 (ミズ等) ●軟体動物 (ナメクジ等) ●節足動物 (ムカデ、ヤスデ等) ●昆虫 (セミ、カブトムシ、クワガタ、ガ等) ●鳥類 (ムクドリ、ハクセキレイ等) 薬剤の使用を最小限にし、生物の住処や隠れ処となる落ち葉や下草を「生き物ゾーン」を確保します。時期等を見極め、立体的な剪定を実施し、季節に応じた日照や風の通り道を確保し、緑の活性化につなげます。	②草地(コース内ラフ、関連園地等) ●環形動物 (ミズ等)・軟体動物 (ナメクジ等) ●節足動物 (ムカデ、ヤスデ等) ●昆虫 (バッタ、チョウ、トンボ、ハチ、アブ、テントウムシ、アリ、コガネムシ等) ●鳥類 (ムクドリ、ハクセキレイ等) 薬剤や化学肥料は使用せず、生物が生息しやすいよう草丈や密度を調整し、「生き物ゾーン」を確保します。草刈りは、ワイルドフラワーの開花時期も考慮して、エリア毎に時期をずらし、生物の住処を確保します。	③芝地(コース内フェアウェイ、ティーイングエリア等) ●環形動物 (ミズ等)・軟体動物 (ナメクジ等) ●節足動物 (ムカデ、ヤスデ等) ●昆虫 (バッタ、チョウ、トンボ、ハチ、アブ、テントウムシ、アリ、コガネムシ等) ●鳥類 (ムクドリ、ハクセキレイ等) 薬剤や化学肥料の使用を最小限にし、草刈りはエリア毎に時期をずらし、生物の住処を確保します。また、土壌内の通気性や排水性を向上させるため、エアレーション等を行い、土壌微生物を活性化させます。
④淡水池(コース内池) ●魚類 (コイ類、ウナギ等) ●水生昆虫 (アメンボ、ゲンゴロウ等) ●昆虫 (トンボ及びヤゴ等) ●爬虫類 (カエル、ヘビ等) ●鳥類 (アオサギ、カルガモ、トビ等) 酸素の供給源や生物の住処となる水草(ヨシ等)を植生し、管理するとともにグリーンインフラを活用して雨水等を貯め、水量及び水質を一定に保ちます。	⑤海(海釣り施設等の水域) ●魚類 (イワシ類、ハゼ類、カサゴ、スズキ、クロダイ等) ●軟体動物 (ムササキガイ等) ●環形動物 (ゴカイ等) ●節足動物 (フジツボ、エビ等) ●鳥類 (コリカモメ、カワウ等) 日常清掃、クリーンアップ活動、釣り人へのマナー啓発、海中清掃を実施し、水域環境保全を図ります。また資源保護のため「稚魚放流」を実施します。	⑥水辺(人工磯等) ●軟体動物 (ムササキガイ等) ●環形動物 (ゴカイ等) ●節足動物 (イソガニ、フジツボ等) ●棘皮動物 (ヒトデ等)・緑藻植物 (アオサ類) ●鳥類 (コリカモメ、カワウ等) 日常清掃、クリーンアップ活動、釣り人へのマナー啓発、海中清掃を実施し、水辺環境保全を図ります。